

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

(熊本県)

昭和 48 年

経済企画庁総合開発局

縮尺20万分の1土地分類図付属資料目次

利用者のために

A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要	1
2. 表層地質の分布とその性状等の概要	3
3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	4
4. 土地利用現況の概要	13

B 統計の部

1. 土地利用現況	18
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳	18
1-2 D. I. D. おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳	26
2. 自然的土地条件	27
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳	27
2-2 標高区分別面積市町村別内訳	31
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	34
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳	38
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳	46
3. 土地利用可能性分級	54
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	54
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	57
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	57
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	58
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	58
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	59
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	60
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	62

利用者のために

I 編集方針

この付属資料は縮尺20万分の1土地分類図についての概要説明と面積統計とに分けられるが、面積統計については、原則としてそれぞれの縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し製表作成した。

たとえば2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は「傾斜区分図」(オーバーレイ)を市町村の行政区単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形分類図」を用い、前者においては、土地利用可能性分級である類地のパターンを、後者においては地形区分のパターンをそれぞれ重ねあわせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

ただし、1-2表「D. I. Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」は対応した土地分類図を作成しなかったため統計資料等によって作成した。

なお、1-1表「土地利用現況別面積」は県統計資料等により作成した。

以上両者の関連を示すと次表のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

統計表の名称	1 地形 分類 図	2 起伏 量・谷 密度 図	3 傾 斜 区 分 図	4 表 層 地 質 分 類 図 (平面的分類図)	5 表 層 地 質 分 類 図 (垂直的分類図)	6 土 壤 分 類 図	7 土 壤 生 産 力 可 能 性 分 級 図	8 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図 (土地利用現況図)	9 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図	10 標 高 区 分 図	11 都 道 府 県 統 計 資 料 等
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳											○
1-2 D. I. Dおおむね10万人以上の都市の											○
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳			○								
2-2 標高区分別面積市町村別内訳										○	
2-3 地形区分面積市町村別内訳	○										
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳				○							
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳									○		
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連							○		○		
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳									○		○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺20万分の1の土地分類図の場合に最小図示単位として1km²（図上では5mm四方）を原則とし、特殊な場合においても最小径400m（図上で2mm）を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。

とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあつては、やや少な目に数値が出る傾向がある。また、道路、河川等はその周辺の分類に含まれるのでやや大き目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく、概括的把握ないし項目の構成比率等を用いるようにされたい。

III 表中の記号について

「0」は数値が掲載単位に満たないもの

「-」は該当事項のないもの

「 」空白は編集時において資料がなく不明のもの

IV 県統計等の資料について

ア. 市町村別面積

「熊本県統計年鑑」（熊本県統計調査課）、「全国都道府県市町村面積」（建設省国土地理院）による。

イ. 土地利用

「熊本県統計年鑑」「農業センサス」の外、林務課、畜産課等の資料による。

V 調査機関一覧表

総括	熊本県企画開発部開発課	熊本市水前寺町6丁目18-1
地形分類	熊本大学教育学部	熊本市黒髪町
表層地質	熊本大学教養部	熊本市黒髪町
土壌	熊本県農業試験場	熊本市上の郷町才木501
	熊本県林業研究指導所	熊本市清水町万石163
土地利用現況	熊本県企画開発部開発課	熊本市水前寺町6丁目18-1
土地利用可能性分級	熊本県農業試験場	熊本市上の郷町才木501
	熊本県林業研究指導所	熊本市清水町万石163

A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要

熊本県の地形は、馬見原（蘇陽町）と八代を結ぶ線すなわちほぼ緑川断層線と日奈久断層線とに一致する線によって南北の明らかな区分がなされる。

本県はこの線以南の九州山地と以北の地区に2大別される。

以北の地区はさらに東部の阿蘇火山、北部の筑肥山地、中部の金峰山・益城山地等があり、その間に熊本平野の台地と沖積低地、八代平野の三角州性低地がある。西部には宇土半島に続き天草諸島が南西に連らなっている。

次に、熊本県内の地形について各地形要素別にのべる。

1.1 山 地

北部の筑肥山地は、標高400～500m前後の中・小起伏山地で、西半部は開析の進んだ壮老年期の地形を呈し、低い鞍部を越えて容易に道路が発達している。東部は標高100m内外の小起伏の火山地で、主に旧期の輝石安山岩からなる新第三紀の旧火山体である。国見山、八方ヶ岳等がこれに属する。

九州山地は、一般に北東に高く、南西に低くなっており、中に断層角盆地の人吉盆地を抱いている。北縁は緑川の断層差で急傾斜をなしている。地形は壮年期の山容で、山地斜面は急傾斜で球磨川およびその支流の川辺川、緑川等がV字狭谷を穿ち、谷底低地にとぼしく、国見岳、市房山等1500m級の大中起伏の山地がそびえ、南北九州の交通の障壁となっている。山頂部には端海野など準平原遺物とみられる前輪廻の高位平坦面が所々にある。

北東部の阿蘇火山は、九州本土のほぼ中央に位置し、南北約24km、東西約18kmのカルデラをもつ複式火山である。世界一のスケールをもつ火口原には、阿蘇五岳をはじめとする中央火口丘を挟んで、北に阿蘇谷、南に南郷谷の扇状性低地がある。

外輪山の外側は、標高600～900mの緩傾斜面（S2-S3）で、波浪状の火山性高原をなし、東部を波野原、北部を端辺原野、南部を矢部高原、西麓を大矢野原とよんでいる。これら火山山麓の緩斜面は、和牛の放牧、採草地として利用され、その面積は約5万haに及んでいる。

中部には木原山、飯田山、船野山等の小起伏山地や旧期火山に属する金峰火山群、大岳火山等の火山体からほとんどなっている宇土半島がある。

天草上下の二大島は、大部分が三紀層からなる小起伏山地で、500～600mの山地は多くの断層によって分断され塊状をなしている。また東部や西部の一部には白亜地層や中生代、古世代の地層を貫いて噴出岩の岩脈をみる。

1.2 丘陵地

県北部には、山鹿市の西北から南関町にかけ、洪積層とこれを覆う火山性堆積物からなる小起伏の丘陵地が介布している。開析が進み、谷密度が10以上なので小起伏丘陵地とした。起伏量は一般に100m以下である。

中部には火山性噴出物を被覆している立田山をはじめ、白亜紀の戸島山、飯高山や筑後変成岩からなる弁天山、岩野山等起伏量100mこえる大起伏丘陵地が点在し、単調な台地面に変化を与えている。これら諸丘陵群を総称して立田丘陵地とした。

以上のほか中部には、主に洪積層からなる小起伏の木原山の南部の丘陵、主として火山性丘陵地がある。

西部には天草の大矢島をはじめ戸馳島、千束蔵々島、上島東岸の樋島、牧島等小起伏の諸島が散在している。

1.3 台 地

県の中中部では白川がつくった古扇状地の隆起した洪積層の台地が阿蘇火山西麓標高約 200 m 以下から有明海にかけて広く分布している。この台地を菊池川とその支流の合志川、白川等が開析して、幾つかの台地、段丘に分断している。台地の基盤は一段に菊池、託麻の礫層からなっているが上層には、火山灰、火山砂等のローム層を被覆しているので、ここでは総ローム台地とした。さらにこの台地を高さにより 100 m 以上 200 m 以下の上位面、100 m～40 m の中位面 40 m～10 m の下位面の三段に分けた。

北部には小岱山の西部荒尾、玉名に洪積層からなる下位台地がある。

南部の人吉盆地周辺には、山麓と低地との間に広く台地が分布している。とくにロームを被覆しているが、免田川の古扇状地と高原台地の一部は砂礫からなっているので砂礫台地とした。標高はいずれも 100 m～200 m と高く、上位段丘に属する。

1.4 低 地

中部低地は熊本平野と八代平野にわかれ後者の約 3 分の 2 は干拓地からなる。熊本平野には数条の自然堤防がみられ、道路用水路、集落の立地するところである。北部の菊池川下流の玉名平野も干拓地が広い。このほか天草や芦北海岸の入江や湾頭には、堆積された小規模な干拓地や低地がある。

菊池川の中流部には、菊鹿盆地、白川上流には阿蘇谷、南郷谷、球磨川の上流には人吉盆地がある。このほか筑後川上流および緑川上流部には河谷に沿った小規模な扇状地性の河谷低地がある。

岩本政教 (熊本大学)

2. 表層地質の分布とその性状等の概要

熊本県内に分布する表層地質をその基準にしたがい未固結堆積物 3、半固結堆積物（洪積～鮮新統で幾分固結、その岩片は水中でよいにくづれないもの）3、固結堆積物 9、火山性岩石 8、深成岩 4 および変成岩 4 計 31 に区分した。これらのうち最も広い分布をとるものは固結堆積物は県南の球磨山地および天草に広く分布する古生層・中生層・古第三紀層で、砂岩・泥岩互層が最も多く、その 1/4 をしめる。次は砂岩・礫岩・チャート、泥岩（粘板岩、砂岩の順であり、石灰岩は 114km² である。

火山性岩石は、固結堆積物について 2.430 km² と広く、阿蘇山、金峯山、大岳および筑肥国境地球等主として県北に分布するものと、県南の肥薩山地を構成するものとにわけられる。この火山性岩石のうち、熔結凝灰岩は阿蘇火山周辺を主とし、一部天草下島、南部の人吉盆地に及ぶ広大な範囲に分布し、その面積は 1179km² に達する。この熔結凝灰岩は熔結の進んだ堅硬なものから、軽石質で弱熔結のもの等に分けられる。主として阿蘇カルデラ生成前の阿蘇火山よりの熱雲式抛出物であるが、南部の人吉盆地周辺のものには、始良火山に由来するものがある。熊本県内においてこの熔結凝灰岩は最も分布が広く、しかも特徴のある岩石である。地形的には台地あるいはゆるやかな山麓をつくり、その表面は、ローム・黒ボクにおおわれている場合が普通である。なおロームは前記熔結凝灰岩の上をおおって 1～3 m の厚さで広く分布し、さらに半固結堆積物として図示した段丘礫層の上にも発達し、最も広く（1179+483=1662km²）分布する火山性岩石であるが、その厚さが薄く、その下位にみられる岩石をもって表層地質を示してある。

火山砕屑物は、阿蘇・九重火山の新时期火山よりの火山灰・火山砂等の比較的厚く堆積した部分を図示したもので、前記ローム層をおおって広く分布する黒色火山灰（ヨナ）の薄層を加えていない。

未固結堆積物は、第四紀沖積世の砂・礫・粘土層を主とするもので、全体として 1054km² に達し、熊本玉名および八代平野、さらに菊池・山鹿盆地、人吉、阿蘇盆地内に分布する。阿蘇火山山麓部にまとまってみられる崖錐堆積物（角礫・岩塊等粗粒物質によって構成されているもの）を砕屑物として図示した。このほか荒尾海岸にみられる砂丘・砂洲堆積をとくに砂として示してある。

半固結堆積物は洪積層および鮮新・洪積層と称せられている段丘や古期湖成層であり、主として砂礫よりなり、固結度は進んでいない。合計 557km² の面積をしめている。前記未固結堆積物の分布する沖積低地より一段高い台地に分布するもので、ローム層、黒ボク層におおわれている場合が普通である。ローム層をのぞいて図示してある。

変成岩の占める面積は 540km² であり、その最も多いのは結晶片岩である。県北の南関、山麓および木葉地区に分布、このほか益城山地の肥後変麻岩、さらに県南市房山花崗岩体の周辺にみられるホルンフェルスには中生代の岩石もある。変斑れい岩は分類にしたがい一応次の深成岩にいられた。

深成岩は面積 319km² でもっとも狭い分布をとっている。その主たるものは花崗岩であり、238km² を占め、中生代はおよび新第三紀中新世に貫入したものである。県北小岱山、山鹿付近、県中央部を緑川構造線にそってのびる宮原花崗岩があり、この延長は天草樋島、御所浦島に及んでいる。さらに県南の市房山を構成する新第三紀花崗岩がある。これと同期のものは天草上島の老岳北側および苓北町富岡付近にもみられる。蛇紋岩は救磨山地の古期岩層の構造線にそって帯状に分布するもので、地送り等に関係する特異な岩石で、土木工事には注意しなくてはならない。同様な塩基性岩石の少しく変質したものに変斑れい岩がある。県北の山鹿地区にまとまって分布し、砕石用として採掘されている。

以上各岩石について概述したが、熊本県内では、阿蘇火山による噴出物、すなわち熔結凝灰岩が最も特徴ある岩石である。

地形的に台地、山麓後斜面等の高原を作り、今後各種開発の行なわれる地域である。

岩体、岩片の強度については、堆積物では天草古第三紀層の砂岩・泥岩を中庸とし、2、b、また火山性岩石では、阿蘇熔結凝灰岩を同じく中庸とし、2、b で図示し、それより上下を隣県の資料を考慮して示したものである。

今西茂 （熊本大学）

3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要

熊本県における山地・丘陵地・台地・低地の土壌は9土壌群、31土壌統群に分類され、その内訳は次のとおりである。

土 壌 統 群 一 覧 表

土 壌 群	土 壌 統 群
岩 石 地	岩 石 地
未 熟 土	残積性未熟土壌 粗粒残積性未熟土壌 粗粒火山拋出物未熟土壌 風化火山拋出物未熟土壌
黒 ボ ク 土	厚層黒ボク土壌 黒ボク土壌 粗粒黒ボク土壌 多湿黒ボク土壌 黒ボクグライ土壌 淡色黒ボク土壌 粗粒淡色黒ボク土壌
褐色森林土	乾性褐色森林土壌 乾性褐色森林土壌（黄褐色系） 乾性褐色森林土壌（赤褐色系） 褐色森林土壌 褐色森林土壌（黄褐色系） 褐色森林土壌（赤褐色系） 湿性褐色森林土壌
赤 黄 色 土	赤 色 土 壌 黄 色 土 壌
褐色低地土	褐色低地土壌 粗粒褐色低地土壌
灰色低地土	灰色低地土壌 細粒灰色低地土壌 粗粒灰色低地土壌
グ ラ イ 土	細粒グライ土壌 グライ土壌 粗粒グライ土壌
泥 炭 土	低位泥炭土壌 黒 泥 土 壌

3.1 山地の土壌

本県の山地は九州の脊梁山脈に属する国見岳・烏帽子岳・市房山を中心とする九州山地と、阿蘇五岳の高岳・根子岳を中心とする阿蘇火山の本体とこれを取りまく外輪山、さらにこれに連なる九重山系の涌蓋山・獺師岳の山麓部を加えた東部火山地が地形的にもっともまとまった山地である。これについてまとまっている山地は阿蘇火山に連なる北部県境沿いの筑肥山地、中部の益城山地と九州山地に連なる南部県境沿いの国見岳・大関山を中核とする南部火山地、および天草本島にみられる西部山地であり、小袋山・金峰山・大岳からなる中北部火山地は山体ごとに分断され、それぞれ独立した地形を形づくっている。

各山地はそれぞれ標高や起伏量、傾斜度が異なり、地質構造、浸食をうけた時間や程度が異なるばかりでなく、気象的な要因によってそこに生育する樹種も異なる。山地の土壌はこれ等の要因が錯綜し相関連しつつ生成された産物であり、ある地域では地質や母材の特性が土壌に強く反映し、またある地域では気象的な要因が土壌生成の過程を強く支配しており、地域によって土壌はそれぞれ異なった様相を呈している。

3.1.1 阿蘇火山地

阿蘇五岳からなる中央火口丘とこれを取りまく外輪山および九重山系に連なる小国の山地からなっており、その大部分は厚層黒ボク土壌と黒ボク土壌でうづめられている。厚層黒ボク土壌は主として北部および南部の外輪山上にみられるなだらかな地形に分布し、波状地形の発達したところでは腐植層のうすい黒ボク土壌となっている。中央火口丘は新しい火山噴出物からなる粗粒火山抛出品未熟土壌からなりそれを取りまくように粗粒淡色黒ボク土壌が火口原との界線に沿って火口丘の裾をつつんでいる。東部外輪山一帯は新しい火山灰に由来する一群の土壌でうづめられ、淡色黒ボク土壌と粗粒淡色黒ボク土壌から成立している。中央火口丘の火山抛出品未熟土壌はA層の発達が微弱で有機物に之しく、粗粒質であるため保肥力の弱い土壌であるが、置換性塩基の供給能は比較的が高く、土層の塩基状態は西北部および南部の外輪山のものより良好である。しかし、林地としての生産力は低く風当たりも強い山頂・尾根筋の風衝地では矮性化している。東部外輪山の土壌は有機物の含量が高く保肥力も比較的強く置換性塩基も豊富である。粗粒淡色黒ボク土壌のところを除いては林木の生育も良く草地としての生産力も高く、阿蘇火山地域としては最も肥沃度の高い土壌である。

北西部および南部の外輪山はその大部分が草地として利用されているが、腐植含量が高く、置換性塩基や有効態リン酸の欠之した腐植質強酸性土壌で生産性はかなり低い。近年外輪に連なる広大な原牧野を対象に大規模な草地改良事業が意欲的にすすめられ、畜産基地としての阿蘇地域を支える飼料の給源として広域にわたる人工草地の造成が着実にすすめられ土地利用の高度化がはかられている。

外輪山が大きく解析された小国盆地を取りまく林地は雨に恵まれ林木の生産性が高い適潤性の褐色森林土壌でうづめられており、本県での主要な林業地を形成している。

3.1.2 九州山地

背梁山脈の国見岳、烏帽子岳から中央構造線に沿い芦北海岸へぬけている古生層の山地と、高塚山・市房山および南部県境の白髪岳を中核とする中生層の山地で構成されており、本県の山地としては起伏量が大きく、もっとも広い森林地帯を形成している。一部に花崗岩や凝灰岩、変成岩類を母材とする土壌をさしはさんでいるが、大部分は堆積岩を母材とする土壌であり、適潤性の褐色森林土壌がその主力をしめている。山頂や尾根筋、山腹斜面の凸部には乾性褐色森林土壌が分布し湿った環境下にある山腹斜面の凹部や沢筋には湿性の褐色森林土壌が分布しており、土壌型と地形とが密接な関連を示している。この地域は本県の林業地帯の主力で林木の生産力が高い地帯である。褐色森林土壌の生産力は土壌の水分環境と密接な関係にあり、山頂・尾根筋一帯・山腹緩斜面の凸部は乾燥し易いために生産力が低く、中腹以下の凹部で適度な湿りを保ちしかも通気透水性の良い崩積性の土壌では生産力が高い。この山地の中央部および南部の県境沿いには

比較的なだらかな地形が介在し黒ボク土壌がこれを覆っている。芦北海岸線寄りの山地では標高も低く起伏量も小さくなっている。この地帯は東部の背梁部にくらべて雨量がかなり少なくなり、乾性褐色森林土壌の黄褐色のものがまとまって分布している。この地帯は気象的に温暖で柑橘の栽培適地と判定され、昭和35年以降広域にわたって開園がすすめられ、甘夏柑を主軸とする果樹園が分布し有数の産地を形成している。大型機械力を用いて短年時に造成された樹園地が多く、表層部分の土壌改良はかなり進んでいるが下層は強酸性のものが多く、樹園地土壌としての生産性はむしろ低い傾向にある。これ等は人為的に攪乱され、表層部分を剥奪されて30~50 cmで際層が現われる場合が多く、層の分化が不明確となっているため褐色森林土からはずして残積性の未熟土壌あるいは粗粒残積性未熟土壌として表示した。中央構造線の流れに沿って石灰岩や蛇紋岩の層が走っており、それ等を母材とする土壌が芦北海岸にかけて細長く分布し、局部的に赤色土壌の範疇に入る色調をおびたもの、あるいはまた暗色土壌的な性格を帯びたものがみとめられるが、前者については乾性褐色森林土壌の赤褐色系として表示し、後者については極く小面積に限られているため本図では表示していない。

3.1.3 北部山地および南部山地

北部山地は阿蘇火山地の西方、福岡県との県境沿いに連なる変成岩類を骨格とする古生代の山地を主体とし、これに安山岩・花崗岩類を交えた新生代・新第三紀の山地から成っており、これを筑肥山地とよぶ。南部山地は国見山を中核とし鹿兒島県との県境沿いに連なる火山地で安山岩類を主代とする山地である。いずれも標高は比較的に低く、中腹以下の凹斜面は褐色森林土壌の赤褐色系のものでうずめられ、この地域の土壌の主流を占めている。鈍頂巾広の尾根筋には赤褐色の乾性褐色森林土壌が分布している。A層は7.5~5.0 YRの色相を中心とする暗褐~黒褐色の土壌で割合に良く発達しているが、B層の多くは5 YRの色相をもち、なかには2.5 YRで赤色土の領域に入ると思われるものも介在しており、面積がまとまっているものを除いてこれ等を赤褐色の褐色森林土壌として表示した。芦北の海岸線一帯は雨量も少なく乾性の褐色森林土壌（赤褐色系）がまとまって分布している。九州山地の流れをくむ田浦町一帯の乾性褐色森林土壌が主として黄褐色系であるのに対して、津奈木町・水俣市の一帯では赤色調が強い。黄褐色のものも赤褐色のものも全般に有機物の乏しい土壌で置換性塩基をはじめ可給態の養分がいずれも不足しており、とくに乾性のものでは適潤性のもより林地や樹園地としての生産力が低い。

しかし、田浦町一帯の山地とともに津奈木・水俣の海岸沿いの山々も気候が温暖で樹園地がまとまって分布しており、甘夏柑を主軸とする産地を形成している。これ等の山地をぬり中小河川の海岸段丘面には灰石やシラス等の火山砕屑物を母材とする土壌が介在し、南部火山地の山間には比較的になだらかな地形が残されており、そこに黒ボク土壌や淡色黒ボク土壌が分布している。

3.1.4 中北部火山地

小岱山を中心とする花崗岩の山地、金峰山を中核とする安山岩の山地、そして宇土半島の基部に位する大岳山から西へ連なる大丘火山地、これ等を総括して中北部火山地とよぶ。各山地はそれぞれ独立した山体としての地形をととのえている。小岱山の一帯は母材としての花崗岩の影響を強くうけて有機物に乏しい中粒~粗粒質の土壌が多い。保肥力が弱く、置換性塩基、可給態の燐酸・窒素も乏しく、畑・林地としての生産力は低い。非常に浸食をうけ易く、山麓は細かく解析され、A層の発達が非常に微弱である。この一帯は雨量が少なく本図では乾性褐色森林土壌（黄褐色系）として表示した。金峰山を中心とする一帯は赤褐色の土壌が多く、中腹以下の凹斜面は適潤性の褐色森林土壌でうずめられ、山頂・尾根筋の一帯には乾性のもので分布している。A層は7.5~5.0 YRの色相を中心とする暗褐~黒褐色の土壌で層の分化が進んでおり、B層は5 YRを中心とする赤色調を帯びた土壌で、適潤性のもは林地としての生産力も比較的高い土壌である。

古くから柑橘の栽培はさかんであり、有明海沿岸部には可成り古い樹園地がまとまって分布している。近年さらに開園がすすめられ山体の7割近くが樹園地でうずめられ、本県有数のみかん産地を形成している。資本力もあり、樹園地の管理もゆきとどいているため土壌の養分状態もよく生産力の高いものが多い。大岳

火山から西へたなびく宇土半島の山陵は金崎山の一带と同様に中腹以下が適潤性の褐色森林土壌で大部分が赤褐色系である。

鈍頂巾広の尾根筋にはその乾性のものが分布しており、林地としての生産力が低い。この地域にはB層の色相が2.5YRでかなり赤色調の強いものが点在し、これを赤色土壌として表示した。これ等は有機物に乏しい強酸性土壌で農地としても林地としても生産力は低い。昭和35年以降極めて積極的に開園がすすめられ、北岸の急針面と半島の山陵部を除いて大部分が樹園地として利用されている。しかし土壌は人為的に攪乱され、A層は殆んど剝奪され土層の分化は不明確となっている。また、30~50cm以下に隙層や基層が現われるものが多く、表層部分にも風化~半風化際を含んでいることが多い。これ等はその様相と生成の経緯からみて赤黄色土壌あるいは乾性の褐色森林土壌（赤褐色系）と判定した方が妥当とも思われるが、本図では残積性未熟土壌あるいは粗粒残積性未熟土壌として表示した。これ等は未だ土壌改良の対策も不完全であり、有機物が乏しく表層部分を剥ぎ取れば塩基の欠乏した強酸性土壌が出て来ることが多く、生産力は低い。しかし、北岸の有明海沿いには起伏量が小さく、気象的に極めて温暖な地帯があり、古くからネーブルの栽培適地として利用されて来たところがある。これ等の樹園地土壌はA層が良く発達しており、土壌構造もよく発達して通透透水性が良く養分状態も良好で生産力が高い。また半島の西寄りの一帯には天草本島の流れをくむ第三紀の堆積岩を母材とする残積性の黄色土壌が分布しており、その多くは樹園地として利用されている。これ等は有機物が乏しく構造の発達程度が弱く保肥力の弱い土壌で、ごく表層部分をのぞいては養分状態が悪く、生産力が低い傾向にある。

3.1.5 西部山地

古第三紀および白亜紀の堆積岩類からなる天草山地は概して標高が低く起伏量も小さい。

気候が極めて温暖であり、本島の背梁部は比較的降雨に恵まれている。しかし、それも2,000mm以下にすぎず、外周海岸線沿いは更に雨量が少ない。この気象的な要因と母材としての堆積岩類の特性とが共に土壌の性質に強く反映しており、大部分は黄褐色系の乾性褐色森林土壌である。これ等は風通しがよく乾燥しやすい尾根筋一帯に分布しており、A層は有機物の分解をうけ易く土層の発達分化の程度も低く明るい黄色をおびたB層へ移行している。赤黄色土の領域に近いものであり暖温帯特有の照葉樹林が多く黄褐色森林土壌ともいふべきものである。全般に有効土層が浅く50cm内外で隙層や基層が現われるところが多い。腐植含量が低く、保肥力が弱く、可給態の養分も不足がちのため林地としても畑地としても生産力が低い。近年造成された樹園地も多く、これ等は他の畑土壌とともに褐色森林土壌の枠からはずし、本図では残積性未熟土壌あるいは赤黄色土壌として表示した。本島の背梁部は比較的降雨に恵まれ中腹から斜面の低部にかけては適潤性の褐色森林土壌（黄褐色系）が部分的に分布している。これ等は乾性のものよりやや生産力が高く、林地としての生産力が中庸のものである。

3.2 丘陵地の土壌

丘陵地としては県北部の南関丘陵と中部の益城丘陵、立田丘陵、および西部の大矢野島・天草本島の一部をあげることができる。

南関丘陵はその大部分が阿蘇熔結凝灰岩（灰石）からなっており、一部は花崗岩の丘陵である。表層部分を腐蝕質の火山灰層で覆われているものが多い。著しく解析が進んでおり、多数の浸食谷が入り組んでいる。中部台地の黒ボク土壌に比して土色はかなり明るく、割合に重い土壌で、土層の塩基状態も良く、火山灰土壌としては比較のおとなしい土壌である。大部分が普通畑および桑園として利用されており、これ等を淡色黒ボク土壌として表示した。林地として利用されている部分は傾斜が急で、火山灰層で覆われているものは少なく、大部分は褐色森林土壌の黄褐色系のものから成っている。立田丘陵は安山岩質、益城丘陵は主として白亜紀の堆積岩類を母材とする土壌でつままれており、温暖寡雨のため大部分が乾性褐色森林土壌である。

中腹から斜面の低地にかけては適潤性のものが分布しており、畑地として利用されている。大矢野島から天草本島にかけての丘陵地帯は大部分が古第三紀の堆積岩に由来する土壌であり、凸状斜面が多く傾斜が急

であるため水食が著しく、表層の腐植層は非常にうすく、30~50 cmで隙層、基層に達するものが多い。有機物に乏しい鉱質の強酸性土壌で林地としても畑地としても極めて生産力が低く、本図では残積性未熟土壌、粗粒残積性未熟土壌あるいは黄色土壌として表示した。北東部の佐伊津から御領にかけては阿蘇熔結凝灰岩からなる丘陵がまとまって分布しており、部分的に火山灰層で覆われたものの存在が確認されているが、小面積であるため本図での表示は省略した。

中 島 精 之 (熊本県林業研究指導所)

近 野 薫 (熊本県農業試験場)

3.3 台地の土壌

本県の台地は北部の玉名台地、中部の肥後台地・益城台地、南部の人吉台地からなっており、畑土壌の大半がこの台地上に分布している。緩やかな傾斜をもった波状地形で表層を火山灰層で厚く覆われている。またこの台地をぬり小河川の流域には火山灰を母材とする水田土壌が介在している。台地の大部分は洪積台地で火山灰層の下に特有の円隙層が観察される。肥後台地の西部および玉名台地の一部は阿蘇熔結凝灰岩(灰石)の台地であり、人吉台地の一部は蛤良火山に由来するシラスの台地である。地形的にもっともまとまっているのは阿蘇西麓の肥後台地と益城台地からなる中部の台地で、殆んど全層にわたって多腐植層で覆われ厚層黒ボク土壌の典型的な様相を呈している。30~50 cm以下に黒ニガとよぶクルミ状構造の発達した緻密度の高い腐植層が現われることが多い。磷酸の固定能が強く、土層の塩基状態が悪いために肥沃度が低く、可給態の磷酸や置換性塩基に乏しい腐植質の酸性土壌が多く、管内の主要な低位生産地を形成している。雨量の分布が悪いために常習的に旱害を被っており、筑後川水系からの農用水供給による大規模な利水計画がすすめられている。近年大型機械力導入による畑基盤整備の工事が進められるにつれて下層の黒ニガ層が露出、混入し生産力の低下と圃場の不均一化をまねいており、基盤整備の工法改善と施工後の生産安定策が要望されている。また、この地域は本県畑作酪農の中核をなしており、それを支える飼料作・牧草の安定多収技術の確立と多頭化に伴う家畜糞尿処理について適正な方策が要望されている。肥後台地の西部から玉名台地にかけての黒ボク土壌は土地もやや明るく表層の腐植層もうすい。これ等の土壌は火山灰以外の母材を交えた二次的な堆積物が多く、厚層黒ボク土壌にくらべて火山灰土壌としての性格がおとなしく生産力も比較的に高い。従来は桑園として利用されて来たが、近年開田工事が進められ灌水施設が整えられてからは急速に野菜の栽培が拡充され、ウリ類を主軸とする野菜産地を形成している。南部の台地は球磨川上流の兩岸にひらけている洪積台地が主体となっており、厚層黒ボク土壌・黒ボク土壌および淡色黒ボク土壌が入り組んで分布しており、人吉市から相良村にかけては蛤良火山の噴出物と考えられているシラスを母材とする風化火山未熟土壌が分布している。黒ボク土壌の下層30~50 cm以下にはイモゴと称する角塊状構造の発達した褐~黄褐色の中粒質の土層が介在する。多孔質であるが緻密度が高く、ばん土性が著しく強い土壌で宮崎県に分布するアカホヤと殆んど同質のものと考えられており、一次的な堆積物と二次的に堆積したものとがある。イモゴ層が浅く現われるところでは生産力が低く、とくに一次堆積のイモゴ層をもつところでは物理的にも化学的にも植生が著しく阻害されている。この地域の土壌は中部台地のそれらに比して表層の腐植含量が高く、土層の塩基状態は中部台地よりも更に悪い。球磨川南岸の扇状台地には部分的に粗粒黒ボク土壌および粗粒淡色黒ボク土壌が分布しており、50 cm以内に隙層が現われ、また表層の黒色土層にも隙が含まれている。これ等は他の黒ボク土壌より肥沃度が低く、保水性も弱いため旱害をうけ易く、生産力は更に低い。人吉市を中心とするシラス台地の土壌は腐植含量が低く、中粒~細粒質で保肥力が弱く土壌の養分状態も黒ボク土丘と同等あるいはそれ以下で生産力は低い。この人吉台地にも戦後いち早く酪農経営が取り入れられ、中部台地とともに畑作酪農の中核を形成している。酪農とともにこの地域での畑作を支えているのはタバコの栽培と養蚕を取り入れた経営である。生産力が低いため中部台地の黒ボク土壌よりも更に積極的な土壌改良方策が望まれる地域である。この地域では、これまでに球磨川本流を利用した多目的ダムの建設により南岸の農地を対象とする利水工事がすすめられ、畑地灌漑・田畑輪換を交えての農業開発が実施されて来たが、更にその支流である川辺川水系の水資源高度利用化による大規模な農業開発事業が計画されており、積極的

な土壌改良対策と相まって土地利用可能性の飛躍的な増大が期待されている。これ等の台地をぬう中小河川の流域には火山灰を母材とする水田土壌が介在している。そのなかには全層が腐植質火山灰層からなるもの、表層だけが火山灰層で下層は灰色～灰褐色の土層からなるもの、あるいはまた表層を灰色～灰褐色の土層で覆われ下層に腐植質の火山灰層が埋没土として現われるもの等があるが、本図では主たる母材が火山灰であると判断されその性格が土壌に強く反映し、また植生に対して支配的な影響を及ぼしていると考えられるものについては全てこれを統合し多湿黒ボク土壌として表示した。一般に肥沃度が低く、可給態の磷酸・置換性の石灰・苦土・加里が不足がちで水持ちも悪く水田土壌としての生産力は低い。

3.4 低地の土壌

本県の低地は菊地川水系の中流域にひらけている菊鹿盆地とその下流にひらけた玉名平野からなる北部低地と、白川および緑川水系の中流から下流域にかけてひらけている熊本平野、球磨川・氷川・砂川・大野川の各水系の下流域にひらけている八代平野、さらに阿蘇火山の火口原にみられる沖積平坦面、それ等を総括した中部低地、それと球磨川上流にひらけている南部低地（人吉盆地）の3地域に大別される。地形的にもっともまとまっているのは中部の低地で本県の穀倉地帯を形成している。

3.4.1 中部低地の土壌

阿蘇火口原

火口原は中央火口丘によって北側の阿蘇谷と南側の南郷谷とに分断され、阿蘇谷をぬう黒川は南郷谷をぬう白川と立野火口瀬で合流し、中部の台地を貫流して熊本平野に注いでいる。阿蘇谷は南郷谷に比して地下水位が非常に高く、中央の低い部分は低位泥炭土壌でうずめられ、それを取りまくように多湿黒ボク土壌、黒ボクグライ土壌が分布しており、中央火口丘および北部外輪山との地形の界線沿いに黒泥土壌、灰色低地土壌が分布している。泥炭土壌・黒泥土壌はいずれも表層部分を細粒～中粒質の腐植質火山灰層で覆われ、30～50 cm以下が泥炭層あるいは黒泥層となっている。多湿黒ボク土壌・黒ボクグライ土壌の大部分は殆んど全層が腐植質火山灰層で構成されているが、下層60 cm以下に火山砂礫層や黒泥層が現われるものもあり、それ等を総括して表示した。地域の大半が腐植過多・還元過多の土壌であるため、水稻は根の発育が悪く、低温多雨の気象条件と相まって養分吸収の不均衡、耐病虫性の低下をまねき、生産力は低位に止まっている。湿地帯であるため裏作の土地利用は一部を除いて極めて低調である。近年大規模な圃場整備事業によって用排水改良と農地の集団化が積極的に進められ、漸次効率的な土地利用形態に移行しつつある。南郷谷の水田は阿蘇谷のそれに比して地下水の影響が少なく大部分細粒～中粒質の灰色低地土壌で占められている。土壌的にみた生産力は比較的が高いが気象的要因に大きく支配され、更に品種のみだれと施肥技術面での欠陥が病虫害をも誘発しており、平坦部の灰色低地土壌に比して水稻の収量は低い。かけ流しによる灌漑が多く、用排水の分離による水管理の合理化、耐病性品種の導入、施肥の適正化が望まれるところである。

白川・緑川の中流域

火口原をぬけた白川は中部の台地を大きく解析して肥後台地と益城台地とに分断しており、その流域に沿って巾約1.5 km、長さ20 kmにわたる細長い紡錘形の平坦地を形づくっている。この地域の大部分は灰色低地土壌で河川沿いの低地には細粒質のものがまとまっており、台地との界線部には中粒質のものが分布している。鉄やマンガンの溶脱が進んでおり、置換性塩基の含量もやや少ない。白葉枯病の常習多発地帯で熊本平野の灰色低地土壌に比して生産力は低い。黒ボク土壌の台地を解析している関係で土壌の色調は灰色～灰褐色を呈しているが母材としての火山灰の影響を受け、その性格が土壌に反映しているものも多い。

熊本平野に注ぐ今一つの主要な河川は緑川およびその支流の河川である。木山川は黒ボク土壌で覆われた阿蘇火山の外輪に源を発し、緑川の本流は中央山地と阿蘇火山地の界線部にあたる中央構造線沿いに貫流し御船川を合して熊本に入り更に木山川と合流している。益城台地の両側をぬう木山川の上流域は灰色低地土壌で占められているが、下流におよんで次第に河床が高くなり、熊本平野へ流入する一帯では他の支流河川とともにかなり広範囲におよぶ湿地帯を形成している。部分的に泥炭質土壌・黒泥土壌が分布しており、生

産力が低く土地利用の効率も悪いところである。近年排土と客土、さらに河川改修を含めての抜本的な土地改良計画がすすめられ、都市をひかえてのそさい・花き部門の拡充による効率的な土地利用が意図されているところである。緑川の本流や御船川は古生代・中生代の山地を貫流しているため、その運積物で形成された流域の沖積地の土壌は白川流域とは様相が異なっている。大部分は中粒～細粒質の灰色低地土壌であるが、河川沿いの平坦部とくに中流域の湾局部には粗粒の灰色～褐色低地土壌が分布しており、30～50 cmで砂礫層が現われるところが多い。白川流域の土壌に比して有機物の含量が少なく、鉄やマンガンの溶脱もはげしく、置換性塩基や可給態の珪酸含量が低い。灌漑水中の養分も対象的に稀薄で同じ灰色低地土壌でも白川下流域のものよりも生産力が劣る。

熊本平野

白川と緑川は下流域で接近し、両者の堆積物によって形づくられた三角州が合成されて熊本平野を形成している。八代平野に比べて地下水位が低く、微～細粒質の灰色低地土壌がその大半を占め、グライ土壌が散在している。両河川が有明海に注ぐ一帯は18～19世紀に造成された干拓地で地下水位が高く、常習的な冠水地帯を形成しており、グライ土壌がまとまって分布している。このデルタ地帯の土壌は保肥力も大きく、置換性塩基や可給態珪酸の含量も多く肥沃度の高い水田土壌である。しかし全般的に用排水の分離が不完全なところが多く、水稻に対する適正な水管理がむずかしい状態にある。熊本市をひかえ地理的条件にも恵まれて、切花や果菜を中心とする施設園芸の盛んな地帯である。

八代平野

球磨川・永川・砂川・大野川といった大小河川が中央山地からはきだした運積物によって形成された合成扇状地で本県ではもっとも広い平野部を形づくっている。その殆んどが18世紀の干拓地で干拓の年代によって土壌の養分状態も異なっている。熊本平野に比べて全般的に地下水が高く、球磨川河口周縁の幾分高いところに灰色低地土壌が分布している他は大部分がグライ土壌で占められている。山沿いの部分には微細粒質のものが多く、海岸線にむかって次第に粗粒質の土壌が多くなっている。各河川の氾濫原と河川沿いの部分には隙層～隙質型の土壌が分布している。土壌のみにた生産力可能性は低いが、近年用排水改良を中心とする大規模な土地改良事業が進展し、地理的条件にも恵まれているため多角的な経営が定着し、イグサの栽培、露地・施設を交えての果菜類を中心とするやさいの栽培が盛んであり、いずれも有数の産地を形成している。

3.4.2 北部低地の土壌

菊地川の中流域にひらけている菊鹿盆地は安山岩および変成岩類からなる北部山地と火山灰で覆われた肥後台地を貫流する支流河川の運積物によって形づくられた沖積平坦面で盆地の東寄りの部分、菊地川の本流およびその支流である合志川の川沿いには細粒灰色低地土壌がまとまって分布している。置換性塩基や可給態磷酸が幾分不足気味であるが鉄や珪酸の含量は割合に多く、生産力は比較的が高い。河川の湾曲部および支流河川が山地から巾広い平坦部に流れ込む部分、あるいはまたそれ等が本流と合流する部分（とくに内田川流域）には細粒灰色低地土壌がまとまって分布し、これよりも幾分高い山際の部分には粗粒褐色低地土壌があつて、いずれも30～50 cmで隙層または砂礫層が現われる。これ等は鉄・マンガンの溶脱が烈しく、保肥力も弱く可給態の養分も不足勝ちで病害を誘発し易く生産力が低い。盆地の中央部で台地との界線沿いには低湿地があり細粒グライ土壌がまとまって分布し局部的に黒泥土壌が分布している。これについては近年用排水改良の工事が積極的に進められ土地利用の効率化が図られている。支流河川の流域に黒ボク土壌があり火山灰を含んだ運積物が多くこの盆地内に堆積している。このため土壌の色調は灰色～灰褐色であるが母材として火山灰が混入し、その地域では裏作の土地利用も活潑でウリ類を中心とするそさいの産地を形成している。

菊鹿盆地をぬけた菊地川は阿蘇熔結凝灰岩（灰石）の台地、花崗岩の丘陵をぬき、更には変成岩類の山地からの支流を合して玉名平野に注いでいる。平野部は菊地川の三角州にあたり、16世紀から17世紀にかけて造成された干拓地で、氾濫原の一帯には隙層～隙質型の灰色低地土壌が分布しており、それから下流域に

かけては中粒～細粒質の灰色低地土壌でうずめられている。母材としての花崗岩・灰石・あるいは変成岩類の性格が土壌に反映しているとみられる。有機物の含量が少ないが保肥力は比較的強く、石灰・苦土・加里・珪酸等の可給態養分が不足気味で、中部低地の灰色土壌よりも生産力がやや低い。河口部は18～19世紀に造成された干拓地で地下水位が高く、中粒～粗粒のグライ土壌群で占められ、川沿いには隙層～隙質型のグライ土壌がまとまって分布している。この一帯の生産力は低く、裏作の土地利用も極めて低調であり、積極的に用排水施設の改良をすすめるべきではないところである。

3.4.3 南部低地の土壌

球磨川の上流地帯で、その本流と支流河川沿いにひらけた細長い盆地が南部の低地である。北岸の沖積平担部の大部分が中粒質の灰色低地土壌で占められ、河川の彎曲部と免田川・川辺川・万江川等の支流河川域および本流との合流点一帯には隙層～隙質型の灰色低地土壌が分布しており、30～50 cmで隙層あるいは砂隙層が現われる。南岸の盆地の東寄りの部分には細粒の灰色低地土壌がまとまって分布しており、この一帯は南部の低地として生産力の高いところである。これよりも地形的に幾分高いところに褐色低地土壌が台地との界線沿いに走っており、更に一段高い部分に多湿黒ボク土壌が分布している。細粒灰色低地土壌と褐色低地土壌をのぞいた中粒～粗粒の灰色低地土壌は有機物の含量が少なく、保肥力が弱く、鉄・マンガンの溶脱もすすんでおり、珪酸や石灰・苦土・加里・磷酸等の可給態養分の含量がいずれも低く、本県の主要な秋落地帯を形成している。現在この地域全体にわたって用排水の分離・区画の整理拡大・農道の整備を主軸とする大規模な土地改良工事が計画的にすすめられており、鉄および珪酸の積極的補給、施肥の合理化と相まって低位生産性の打解策が着実にすすめられている。また火山灰を母材とする多湿黒ボク土壌についても磷酸質資材の大量投入と石灰・苦土資材による土層の塩基状態改善、さらに優良粘土の客土による漏水の防止等、生産力の増強策が実践にうつされつつある。

3.4.4 その他の低地土壌

以上の他に山地・丘陵地帯の合間には細長く低地土壌帯が入り組んで分布している。県の北部および南部では、安山岩や変成岩類の山地・花崗岩の丘陵、灰石の台地等をぬう支流河川の流域に低地土壌が分布している。比較的巾広い谷底平野には灰色低地土壌がいわゆる迫田として分布し、それから上流にかけての河岸段丘面には棚田として灰褐色～黄褐色の低地土壌群が分布しており、山が迫っている部分ではそれ等が隙層あるいは隙質型の土壌となっている。本図ではこれ等を褐色低地土壌あるいは粗粒褐色低地土壌として表示した。花崗岩の丘陵や灰石の台地をぬう小河川の流域に分布する低地土壌は母材の影響をうけて保肥力が弱く、可給態の養分含量が不足勝ちで、同じ灰色土壌ではあるが白川、緑川の下流域に分布する灰色低地土壌よりも生産力は低い。更に山間の棚田とみられる粗粒褐色低地土壌では養分の溶脱もはげしく、生産力が更に低くなっている。

県南部の山地についても山間をぬう中小河川の流域にひらけた谷底平野、小盆地、洗積地、あるいは上流部分の河岸段丘、谷壁段丘面に低地土壌化したものが分布している。大部分は粗粒灰色低地土壌で、やや標高の高い上流地帯には隙層～隙質層の粗粒褐色低地土壌が分布している。これ等の河川の下流域は18～19世紀に造成された干拓地で、その殆んどが中粒～細粒質のグライ土壌で占められている。湯浦川・佐敷川の下流域にひらけた谷底平野に分布する細粒の灰色低地土壌をのぞけば大部分が隙層～隙質型の土壌であるため全般に有効土壌が浅く、鉄やマンガンの溶脱がすすんだ老朽化水田で、保肥力が弱く、可給態の珪酸や石灰・苦土・加里も不足しており天草島嶼にみられる低地土壌とともに本県の代表的な秋落地帯を形成している。

大岳火山地、大矢野島、天草本島に介在する低地土壌の主軸となっているのは海岸線の入江に造成された中小干拓地の土壌である。大部分は18～19世紀に造成されたもので大半が微粒～細粒質のグライ土壌である。これから山間部にかけて中小河川流域にひらけた谷底平野、小盆地、河岸段丘面に細粒～中粒質の灰色低地土壌・更に山の手に入るにつれて褐色低地土壌、あるいは粗粒褐色低地土壌へと移行している。宇土半

島の大岳火山地にみられる安山岩質のものを除けば、大部分が第三紀の堆積岩を母材とする土壤で、全般的には隙層や基層が浅く現われる隙層～隙質型の土壤が多く、典型的な浅耕土地帯である。

有機物に乏しく、母材の影響をうけて保肥力が弱く、鉄やマンガンの溶脱も烈しい上に可給態の養分がいずれも不足勝ちであるため水稻の収量は低く、代表的な秋落地帯を形成している。河川はふところが浅く、その上水持ちの悪い土壤が多いため全般に用水の不足を来たしている。鉄・マンガン・珪酸の積極的補給、有機物の還元による土壤改良、栽培技術の改善、それ等と併行して用排水施設の改善、溜池の改修・拡張、区画の整理拡大、更にはダム建設による積極的な用水確保等の土地改良計画も着実にすすめられており、畑地での柑橘栽培、水田裏作でのそさい栽培の拡充等、多角的な経営が漸次定着して営農が安定しつつある。

近野 董 (熊本県農業試験場)

4. 土地利用の概要

4.1 総 説

熊本県内における土地利用分布の地域的特色を概観すると、阿蘇郡蘇陽町馬見原と八代市（日奈久）をほぼ一直線に結ぶ線を境にして、南北の両地区に大別される。

南部は一带に山地が多く、人吉盆地の水田とその周辺の段丘、台地上の普通畑や芦北のリアス式海岸斜面の傾斜地に散在する果樹園等を除いては、林地が大半を占めている。

これとは対照的に北部の地域は、地形、土壌、気候などの自然的条件の差異や道路、鉄道などの交通条件、都市からの距離開発の歴史的背景の相異などによって複雑な土地利用のパターンを示している。

カルデラを中に抱く阿蘇火山地域の広い高原と裾野は、水田、畑などの農地で草地利用や一部観光の利用がみられ、中部の熊本、八代平野の低地とその周辺の台地、丘陵では、水田や普通畑のほか市街地、宅地造成、交通通信、レクリエーション、埋立地などの都市的利用がさかんである。西部の益城、宇土半島から天草本島にかけては小起伏山地や丘陵が卓越し、モザイク状に入り込んだ水田、海岸にのぞむ傾斜地の果樹園、耕して天に到る段々畑のほかは大部分が林地として利用されている。

4.2 各 説

4.2.1 山地及び丘陵・台地

起伏量 200～400 m以上の山地・傾斜度 15°以上の山地や丘陵は、ほとんど林地となっている。以下、山地別に記述する。

北部の筑肥山地は、褐色森林土壌が大部分で交通の便もよく、市場にも近く、一部にヒノキの植林にもみられるが、一般にスギの人工林が多く、とくに岩野川流域にはスギの美林がある。かつて八女に近い岳間地方では、植林前作の焼畑（こば作）が行なわれていたが、現在はみられない。この地方はわが国でも有数の日田林業につづく小国林業地帯の外線部を形成している。筑肥山地の裾野や丘陵地では集落に近接して、シイ・カシなどの新炭林用の広葉樹が多かったが、プロパンガス燃料の普及とともに経済林として価値はうすくなり、一部は次第に栗・茶園・桑・みかん園などにかわりつつある。

小国地方は褐色森林土壌の被覆も深く、雨量にも恵まれ、行き届いた管理の下に、スギの美林が育成され、わが国でも指折りの林業地となっている。

花崗岩を基盤にする小岱山は、乾性褐色森林土壌におおわれ、新炭林用の雑木林が多く、一部に松の人工林がみられ、古い荒尾梨園のほかまた最近では荒廃に近い松山を開墾して、みかんの栽培が増加している。

金峰山頂は付近の杉林・松林を除いては、しい・かしなどのり、都市の近郊では大根、白菜、ごぼう、きゃべつを栽培する地域がふえている。

また、菊池、鹿本、玉名、益城の台地では昭和初期以来桑畑が多く、一時衰退したが、依然として、本県は西日本一の養蚕県となっている。

最近国道3号線、57号線などの改修、九州縦貫高速道の植木一熊本間の開通、新熊本空港の開港、県庁の東部への移転等により、熊本市東部・北部の台地は、病院・試験場などの公共施設のほかアパートなどの住宅団地、電機、紡績などの内陸型工場の建設など都市的利用がふえ、これまで関東の武蔵野を彷彿させるようなナラやクスギの混じった一帯の平地林はしだいに伐採され、昔の佛を喪失しつつある。

4.2.2 平 地

本県のほぼ中央部、すなわち南北九州を結ぶ中廊下的位置に熊本、八代両平野の低地から台地に続く付近には県庁のある商業、政治都市の人口45万の熊本市をはじめ、荒尾、玉名、宇土、八代等各都市の市街地が

発達し、住宅地、商工業用地、事務所、交通施設など都市的施設がふえ、水田や自然堤防の微高地を基盤とした農地を蚕食しつつある。とくに本地区を南北に走る国道3号線の沿線には交通、運輸関係のサービス施設や事務所、工場、流通施設が増加し、これまでの田園景観は一変しつつある。

他方五大工場の立地する八代市では工場廃水や海水の汚濁など公害の問題がおこっている。

北部の荒尾、長州、玉名地区にかけての臨海地帯では、アルミサッシ、造船などの工場用地の埋立が進んでいるし、南部の八代地区でも干拓の農業用地の一部が工場用地に転換しつつあり、この地区の都市化、工業化は今後も進むことが予想される。

農業用地としての低地は、近世初頭以来の干拓地、灌漑工事により、ほとんど水田として利用され、本県の有力な穀倉地帯となってきた。とくに菊鹿盆地の菊池米は肥後米の本場で、米質がすぐれ、酒造米やすし米としても有明である。しかし、最近米作の調整、作付制限などにより、休耕地が増えつつあり、都市の近郊ではビニールハウスや加温により、とまと、きゅうり、ピーマン、プリンスメロンなどの促成、抑制栽培が増加している。

他方八代平野の千丁村を中心に水田の裏作にイ草の栽培、豊表の加工がさかんで、その栽培面積は先進地の岡山県を抜いて全国一となり、最近イ草の栽培は八代平野から人吉盆地など県下各地に拡大しつつある。また、八代平野の一部では水田裏作利用の牧草栽培による酪農や水稻の直接栽培、機械化の導入など、土地基盤の整備と相まって、従来排水不良と湿田に悩んでいた本地域も漸く低生産地から脱皮する動きが看取され有明海にのぞむ西麓斜面は見渡す限り密柑園が続き壮観である。また金峰山一帯は森林観光の面から、国民の森として脚光を浴びている。

阿蘇火山外輪の周辺には、黒ボク土壌が広く分布し、7~8°のゆるやかな傾斜の高原や裾野が標高700~900mにわたって広がっている。端野、波野、大矢野原とよばれるこれらの高原は、かや、すすき、ささなどの天然の草地が大部分である。中央火口丘の山頂付近は、裸地の荒地を露出しているが、阿蘇五岳の山腹や外輪の高原の一部では牧草地に改良し、乳牛、肉用牛の放牧や採草地としての利用が進んでいる。また小国、波野、矢部、高森地区の原野には、ナラクスギなどが原野に疎林として散在、パーク的景観を呈し家畜のひ陰樹、しいたけ栽培の原木として利用されている。

天草本島の低山地から芦北海岸にかけての地区には、乾性褐色森林土壌が一般的に多く分布し、従来人工林としては杭木用、造船用の松材が多く植林されてきた。とくに芦北の短期伐採杭木林業は地方的に知られている。しかし、最近炭鉱の衰微、木造船需要の減少に伴ない、松材の経済的価値が低下しつつあり、樹種の転換や一部は甘夏、ぼんかん、温州などの柑橘類や桑園に切り代りつつある。天草には一時モリシマアカシアがパルプ材の原木として導入植林されたが、その結果はあまり芳しくなかった。天草本島では横出しに便利な道路、海岸、港湾に近い地区を除いては、一般にシイ、カシなどの雑木林が多く、その経済性は極めて低い。

九州山地には急傾斜の中起伏、大起伏の山地がそびえ、中生層、古生層を母岩とする褐色森林土壌が広く分布し、水上村、五木村、泉村などにはアヤシギの人工林もみられるが、一般には天然の広葉樹が多く、15年~20年ごとに火入れをして焼畑耕作を行ない、そのあとに生長する天然茶の採取がこの地方の現金収入の一部となっている。しかし、最近林道の発達により焼畑はまれになり、パルプ会社や公社によるマツ、スギ、ヒキの人工林が増加している。また、尾根すじには黄色土壌が発達し、マツと一部にヒキがみられる。また、内大臣をはじめとした国有林にはブナ、ツガなどの巨木やシイ、カシの天然の広葉樹林が茂っている。

南部の国見山、大関火山地区には赤褐色の森林土壌が分布し、杉の人工林が多く、一部にはマツの造林もみられる。

洪積層や隆起扇状地からなる台地や、段丘面上は、一般に火山灰がおおい灌木の雑木林や普通畑としての利用が一般的であったが、旧藩時代からの瀬田上、下井手、球磨の百太郎溝、幸野溝など灌漑用水路網の普及により開田化が進み、畑成田が多くなった。台地では一般に夏は甘藷、陸稻、雑こく、たばこ、冬は麦、なたねを栽培する作付方式が行なわれてきたが、最近では50~100mの地下水をPump upして畑地灌漑をしたり、さらに開田をし米のあとにプリンスメロン、スイカを栽培した。天草諸島の平地は、狭い河谷の細長い耕地や旧入江の小干拓（いわゆる釜とよぶ）地が多く、耕水不良の湿田が大部分である。そのため早期

栽培が一般的で、品質も劣り、反当り収量も低い。

阿蘇火山の火口原の北部には、面積約 67 km² の阿蘇谷と南部にはほぼその 1 / 3 の面積の南郷谷がある。阿蘇谷は黒川とその支流の岳川、東岳川が堆積した扇状地性の低地である。南郷谷は白川の氾濫源と中央火口丘の裾野や南外輪山の押し出し扇状地の末端部からなっている。両者ともに高位、低位の泥炭土壤に黒ボク土壤からなり、生産性は低い。阿蘇谷の大半は湿田で、スワミ田とよばれる滞水田や千町牟田とよぶ腰までぬかる沼田が残存している。

田丸述史（熊本県企画開発部開発課）

B 統 計 の 部

1. 土地利用現況

1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳（県統計資料による）

区分 市町村	農地									草地					
	田			畑						農地計	利用草地			未利用草地 (原野)	草地計
	普通田	特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹園地			永年牧草地		自然草地	計			
						果樹園	桑園・茶園他	計							
熊本市	41		41	26	0	3	0	3	70			0	-	0	
八代市	52		52	3	0	3	0	3	58			0	-	0	
人吉市	15		15	5	0	2	1	3	23			0	1	1	
荒尾市	10		10	6	0	5	0	5	21			0	1	1	
水俣市	6		6	3	0	5	1	6	15			0	0	0	
玉名市	26		26	3	0	7	2	9	38			0	-	0	
本渡市	15		15	8	0	7	0	7	30			0	1	1	
山鹿市	19		19	4	0	4	3	7	30			0	1	1	
牛深市	5		5	5	0	5	0	5	15			0	1	1	
菊池市	21		21	4	0	3	4	7	33	3		3	1	4	
宇土市	19		19	2	0	8	0	8	29			0	1	1	
計	229		229	69	0	52	11	63	362	3		3	7	10	
北部町	8		8	4	0	1	0	1	13			0		0	
河内町	1		1		0	9	0	9	10			-		-	
飽田村	8		8	1	0		0	0	9			0		0	
天明村	13		13		0		0	0	13			0		0	
計	30		30	5	0	10	0	10	45			0		0	
三角町	5		5	1	0	11	0	11	17				-	-	
不知火町	4		4	1	0	5	0	5	10				-	-	
城南町	14		14	2	0	0	4	4	20				-	-	
富合村	10		10		0	0	0	0	10				-	-	
松橋町	14		14	2	0	4	0	4	20				-	-	
小川町	14		14	2	0	3	0	3	19				-	-	
豊野村	5		5		0	3	1	4	9				-	-	
中央村	4		4	2	0	1	2	3	9				-	-	
砥用町	7		7	4	0	0	1	1	12				1	1	
計	77		77	14	0	27	8	35	126				1	1	
岱明町	11		11	3	0	1	0	1	15	-	-	-	-	-	
横島町	9		9	1	0	0	0	0	10	-	-	-	-	-	
天水町	5		5	0	0	8	0	8	13	-	-	-	-	-	
玉東町	2		2	1	0	5	0	5	8	-	-	-	-	-	
菊水町	6		6	2	0	1	3	4	12	-	-	-	-	-	
三和町	8		8	1	0	4	2	6	15	-	-	-	-	-	

(単位 km²)

林 地											宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計	
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林 ・ そ の 他	除 地				林 地
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 利 用 地	そ の 他	計						
5		5		11	11			0	2	—	18	27	57	172
27		27		12	12		1	1	1	—	41	9	35	143
75	1	76	2	67	69			0	6	—	151	4	32	211
		0		3	3			0	0	—	3	3	30	58
94		94		13	13		1	1	4	1	113	3	33	164
5		5		19	19		1	1	2	—	27	4	20	89
43		43		45	45		1	1	1	—	90	3	20	144
15		15		14	14			0	2	3	34	4	18	87
13		13		45	45		1	1	0	—	59	1	13	89
64		64		31	31	1	1	2	5	—	102	3	41	183
7		7		18	18			0	3	—	28	4	13	75
348	1	349	2	278	280	1	6	7	26	4	666	65	312	1,415
1		1		2	2			0	2	—	5	1	11	30
6		6		9	9			0	2	—	17	0	7	34
		0			0			0	—	—	0	1	2	12
		0			0			0	—	—	0	1	5	19
7		7		11	11			0	4	—	22	3	25	95
6 [*]		6		16	16			0	2	—	24	1	6	48
3	1	4	1	6	7	1		1	2	—	14	0	5	29
1		1		3	3			0	1	—	5	2	10	37
1		1		2	2			0	—	—	3	1	6	20
4		4		3	3			0	—	1	7	2	9	38
5		5		5	5			0	1	—	12	2	7	40
7		7	1	4	5			0	1	—	13	0	10	32
14		14	1	8	9		1	1	1	—	25	1	7	42
37		37	2	29	31		2	2	4	1	75	1	13	102
78	1	79	5	81	86	1	3	4	12	2	178	10	73	388
—	—	—	—	2	2			0	—	—	2	0	5	22
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	12
2	—	2	—	2	2			0	—	—	4	1	4	22
4	—	4	—	6	6			0	2	—	12	0	4	24
4	—	4	—	9	9			0	2	—	15	0	11	38
14	—	14	—	14	14			0	3	—	31	1	13	60

区分 市町村	農地									草地					
	田			畑						農地計	利用草地			未利用草地(原野)	草地計
	普通田	特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹園地			永年牧草地		自然草地	計			
						果樹園	桑園・茶園他	計							
南関町	12		12	6	0	2	1	3	21						
長洲町	7		7	3	0	1	0	1	11						
計	60		60	17	0	22	6	28	105						
鹿北町	6		6	1	0	6	1	7	14						0
菊鹿町	9		9	3	0	3	2	5	17						0
鹿本町	10		10	1	0	0	1	1	12						0
鹿央町	6		6	5	0	1	1	2	13						0
植木町	17		17	14	0	0	3	3	34						0
計	48		48	24	0	10	8	18	90						0
七城町	10		10	2	0	0	1	1	13						0
旭志村	5		5	7	0	1	1	2	14						0
大津町	10		10	21	0	2	3	5	36		1	1	10	11	
菊陽町	6		6	15	0	0	1	1	22					0	
合志町	4		4	10	1	1	1	2	17					0	
泗水町	6		6	7	0	1	2	3	16					0	
西合志町	4		4	8	0	0	1	1	13					0	
計	45		45	70	1	5	10	15	131		1	1	10	11	
一の宮町	14		14	5	5		1	1	25	8	40	48		48	
阿蘇町	34		34	5	8		1	1	48	14	73	87	0	87	
南小国町	7		7	1	3			0	11	3	37	40	0	40	
小国町	10		10	2	4			0	16	4	39	43	0	43	
産山村	4		4	1	3		1	1	9	0	26	26	0	26	
波野村	1		1	11	1		1	1	14	0	19	19	0	19	
蘇陽町	6		6	7	1	1	1	2	16	1	43	44	0	44	
高森町	4		4	15	1	1	1	2	22	1	45	46	1	47	
白水村	8		8	6	1		1	1	16	1	12	13	1	14	
久木野村	8		8	1	1			0	10	1	18	19	1	20	
長陽村	5		5	4	1			0	10	1	10	11	1	12	
西原村	4		4	8	1	1	1	2	15	2	23	25	7	32	
計	105		105	66	30	3	8	11	212	36	385	421	11	432	
御船町	15		15	4	1	2		2	22						
嘉島町	10		10	2					12						
益城町	14		14	16		2	1	3	33						
甲佐町	11		11	3		2	3	5	19						
矢部町	23		23	8	1	1	2	3	35		25	25		25	
清和村	14		14	5	1	2	1	3	23	1	7	8		8	
計	87		87	38	3	9	7	16	144	1	32	33		33	

(単位 km²)

林 地												宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林 ・ そ の 他	除 地	林 地			
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 に 利 用 地	そ の 他	計						
10	-	10	-	17	17			0	3	-	30	0	19	70
		-		1	1			0	-	-	1	0	4	16
34		34		51	51			0	10	-	95	3	61	264
42		42		18	18		2	2	4	-	66	1	5	86
21		21	2	23	25			0	4	-	50	0	10	77
		0			0			0	0	-	0	0	6	18
5		5		5	5			0	2	-	12	1	5	31
3		3		9	9			0	4	-	16	4	11	65
71		71	2	55	57		2	2	14	-	144	6	37	277
		0	1	1	2			0	-	-	2	1	4	20
14		14		5	5		2	2	1	-	21	1	10	46
26		26		10	10			0	2	-	38	2	12	99
1		1	1	3	4		1	1	1	-	7	2	6	37
		0	1	2	3		1	1	-	-	4	2	6	29
	2	2		1	1		1	1	-	-	4	1	5	26
		0		3	3			0	1	-	4	0	9	26
41	2	43	3	25	28		5	5	5	-	80	9	52	283
16	-	16	-	4	4	1	0	1	1	4	26	2	4	105
49	-	49	-	6	6	3	0	3	1	-	59	3	2	199
40	-	40	-	9	9	2	0	2	3	-	54	1	9	115
46	-	46	-	19	19	4	0	4	2	-	71	1	5	136
15	-	15	-	6	6	1	1	2	1	-	24	1	1	61
28	-	28	-	1	1	3	0	3	1	-	33	0	5	71
26	-	26	-	14	14	1	0	1	4	-	45	1	13	119
47	-	47	-	15	15	5	4	9	5	-	76	2	28	175
7	-	7	-	2	2	0	3	3	1	-	13	1	4	48
10	-	10	-	7	7	0	0	0	1	-	18	0	3	51
8	-	8	-	2	2	1	1	2	1	-	13	1	3	39
20	-	20	-	6	6	1	0	1	0	-	27	1	2	77
312	-	312	-	91	91	22	9	31	21	4	459	14	79	1,197
17	1	18	-	20	20	1	1	2	8	-	48	2	26	98
0	-	0	-	0	0	0	0	0	-	-	0	1	4	17
9	-	9	-	9	9	0	1	1	2	-	21	3	9	66
10	-	10	-	14	14	0	0	0	2	-	26	2	11	58
110	1	111	14	47	61	1	5	5	8	15	201	2	33	296
25	6	31	5	24	29	19	5	24	4		88	1	9	129
171	8	179	19	114	133	21	12	32	24	15	384	11	92	664

区分 市町村	農地								草地					
	田			畑					農地計	利用草地			未利用草地(原野)	草地計
	普通田	特殊田	計	普通畑	牧草畑	樹園地				永年牧草地	自然草地	計		
						果樹園	桑園・茶園他	計						
坂本村	2		2	1		2	1	3	6				5	5
千丁村	9		9						9					
鏡町	20		20						20					
竜北村	14		14	1		2		2	17					
宮原町	3		3	1		1		1	5					
東陽村	2		2	1		2		2	5					
泉村	1		1			1	2	3	4				2	2
計	51		51	4		8	3	11	66				7	7
田浦町	2		2			3	—	3	5					
芦北町	11		11	1		5	5	10	22				1	1
津奈木町	2		2	1		2		2	5					
計	15		15	2		10	5	15	32				1	1
錦町	14		14	3		2	1	3	20				1	1
上村	8		8	3			6	6	17					
免田町	5		5	1					6					
岡原村	6		6						6					
多良木町	16		16	3		1		1	20	2		2	2	4
湯前町	6		6	1					7					
水上市村	3		3	1		2		2	6	1		1		1
須恵村	3		3	1					4					
深田村	3		3	1					4					
相良村	5		5	3			2	2	10					
五木村	1		1	1			1	1	3				5	5
山江村	3		3	1		1	1	2	6				2	2
球磨村	4		4	1		1	1	2	7					
計	77		77	20		7	12	19	116	3		3	10	13
大矢野町	5		5	7		3		3	15					
松島町	6		6	2		1		1	9					
有明町	7		7	3		4		4	14					
姫戸町	1		1	1					2					
竜ヶ岳町	1		1	1		1		1	3					
御所浦町				1		2		2	3					
倉岳町	4		4	1		1	1	2	7					
栖本町	4		4	1		1		1	6					
新和町	6		6	2		2		2	10					
五和町	6		6	5		6		6	17					
芥北町	5		5	5		2		2	12					
草天町	3		3	4		2		2	9					

(単位 km²)

林 地											宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計	
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林 ・ そ の 他	除 地				林 地 計
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 し て いる 土 地 利 用 地	そ の 他	計						
102		102		33	33				3		138		13	162
									—			1	1	11
									—			2	5	27
									—			1	1	19
2		2		1	1				—		3		2	10
35		35		14	14			3	3	2	54		6	65
79	1	80	2	168	170			3	3	1	254		7	267
218	1	219	2	216	218			6	6	6	449	4	35	561
23		23		2	2					—	25	1	2	33
116	1	117	1	24	25			1	1	4	147	2	29	201
18		18		2	2					—	20	1	7	33
157	1	158	1	28	29			1	1	4	192	4	38	267
23	2	25	1	21	22			1	1	1	49	2	12	84
22	—	22		41	41	1		1	2	2	67	1	5	90
										—		1	3	10
7		7		4	4					1	12	1	2	21
54	—	54	4	64	68			2	2	1	126	1	16	167
29		29	1	6	7					—	36	1	4	48
81		81		90	90			2	2	4	177		9	193
4		4		4	4					2	10		3	17
8	1	9	1	2	3					—	12		5	21
30		30	1	40	41			2	2	1	74		11	95
58	1	59	1	177	178			1	1	3	241		3	252
28	1	29		65	65			2	2	4	100	1	12	121
80		80	1	95	96			1	1	8	185		15	207
424	5	429	10	609	619	1	12	13	27	1	1,089	8	100	1,326
11		11		3	3					—	14	1	8	38
6	1	7	4	19	23			6	6	—	36	2	5	52
15		15		23	23					—	38	1	7	60
4		4	1	8	9			1	1	—	14		3	19
2		2	3	6	9					—	11		4	18
6		6		8	8					—	14		4	21
5		5	2	8	10					—	15		3	25
8		8	1	9	10					—	18		8	32
12		12		25	25					1	38		8	56
18		18	1	6	7					—	25	1	7	50
25		25	2	14	16			1	1	—	42	1	11	66
26		26		30	30			2	2	—	59	1	15	84

区分 市町村	農 地								草 地					
	田			畑					農 地 計	利用草地			未 利用 草地 (原野)	草 地 計
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地				永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計		
						果 樹 園	桑 園 ・ 茶 園 他	計						
河 浦 町	9		9	3		3		3	15					
計	57		57	36		28	1	29	122					
郡 計	652		652	296	35	139	68	207	1,189	40	418	458	40	498
県 合 計	881		881	365	35	191	79	270	1,551	43	418	461	47	508

- (注) 1. 市町村別面積＝「熊本県統計年鑑」(熊本県統計調査課)，「全国都道府県市町村面積」(建設省国土地理院)
2. 土地利用現況別面積＝「熊本県統計年鑑」，「農業センサス」の外，林務課，畜産課等の資料による。

(単位 km²)

林 地											宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計	
人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林 ・ そ の 他	除 地				林 地 計
針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 利 用 土 地	そ の 他	計						
34		34		54	54				1		89	1	15	120
173	1	174	14	213	227		10	10	2	1	413	8	98	641
1,685	19	1,704	56	1,489	1,545	45	59	104	129	23	3,505	80	690	5,962
2,033	20	2,053	58	1,767	1,825	46	65	111	155	27	4,171	145	1,002	7,377

による。

1-2 D.I.D.おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

(単位 km²)

区分 市	市街地の内訳									市街地外の内訳							合 計	
	商業 区	工業区			住 宅 区	その他				市 街 地 計	農 地	草 地	林 地	宅 地	公 共 用 地	そ の 計		
		重 工 業 地	軽 工 業 地	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区	計							地		地
熊本市	5	0	1	1	20	0	1	2	3	28	70	0	18	7	20	29	144	172
八代市	1	3	0	3	5	1	0	1	2	8	58	0	41	4	8	23	134	143
合計	6	3	1	4	25	1	1	1	5	36	128	0	58	11	28	52	278	315

(注) 関係市に照会作成した。

2. 自然的土地条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

(単位 km²)

傾斜区分 市町村名	0°～3°	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°～30°	30°～40°	40°以上	未区分地	総面積
熊本市	59	4	14	10	1			84	172
八代市	58		19	12	10			44	143
人吉市	17	5	30	32	74	17		36	211
荒尾市	5	12	6	1	1			33	58
水俣市	10	3	19	21	64	8	3	36	164
玉名市	12	7	35	8	3			24	89
本渡市	15		56	30	20			23	144
山鹿市	16	8	25	8	8			22	87
牛深市	3		4	18	50			14	89
菊池市	16	3	55	24	30	11		44	183
宇土市	31	3	12	9	1	2		17	75
計	242	45	275	173	262	38	3	377	1,415
北部町		13	5					12	30
河内町			12	13	2			7	34
飽田村	9							3	12
天明村	13							6	19
計	22	13	17	13	2			28	95
三角町		1		30	4	6		7	48
不知火町	2		15	6	1			5	29
計	2	1	15	36	5	6		12	77
城南町	16	6	1	2				12	37
富合村	10	2	1					7	20
松橋町	19	3	4	1				11	38
小川町	12	2	11	2	4			9	40
豊野村	3	2	10	6	1			10	32
中央村	4	1	7	5	14	2	1	8	42
砥用町	2	6	25	14	37	2	2	14	102
計	66	22	59	30	56	4	3	71	311
岱明町	15	1	1					5	22
横島町	10							2	12
天水町	6	4	5	2				5	22
玉東町	1	16	2	1				4	24
菊水町	5	5	15	2				11	38

(単位 km²)

傾斜区分 市町村名	0°～3°	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°～30°	30°～40°	40°以上	未区分地	総面積
三加和町	4		28	12	2			14	60
南関町	2	7	33	8	1			19	70
長州町	12							4	16
計	55	33	84	25	3			64	264
鹿北町	0	3	17	30	30			6	86
菊鹿町	4	3	20	17	19	4		10	77
鹿本町	11	1						6	18
鹿央町	2	9	13	1				6	31
植木町	6	26	15	3				15	65
計	23	42	65	51	49	4		43	277
七城町	9	4	2					5	20
旭志村	5	4	6	12	6	2		11	46
大津町	13	21	19	18	11	3		14	99
菊陽町	25	3		1				8	37
合志町	20	1						8	29
泗水町	16	4						6	26
西合志町	12	5						9	26
計	100	42	27	31	17	5		61	283
一の宮町	20	30	29	5	15			6	105
阿蘇町	47	55	44	13	28	7		5	199
南小国町	6	14	83	2				10	115
小国町	33	11	65	2	19			6	136
産山村		3	39	10	6	1		2	61
波野村		31	32	3				5	71
蘇陽町		45	38	6	16			14	119
高森町	7	18	77	17	25	1		30	175
白水村	6	14	6	6	9	2		5	48
久木野村	9	14	9	4	12			3	51
長陽村	1	14	8	3	2	7		4	39
西原村	3	4	35	16	14	2		4	77
計	132	253	465	87	146	20		93	1,196
御船町	12	3	13	13	29			28	98
嘉島町	10	2						5	17
益城町	29	3	10	4	8			12	66
甲佐町	9	5	9	6	15	1		13	58

(単位 km²)

傾斜区分 市町村名	0°～3°	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°～30°	30°～40°	40°以上	未区分地	総面積
矢部町		16	110	55	72	8		35	296
清和村		29	43	26	21			10	129
計	60	58	185	104	145			103	664
坂本村		18	17	31	61	22		13	162
千丁村	9							2	11
鏡町	20							7	27
竜北村	11	3	3					2	19
宮原町				1	6	1		2	10
東陽村		7	3	14	32	3		6	65
泉村		15	10	18	155	51	11	7	267
計	40	43	33	64	254	77	11	39	561
田浦町	1		6	6	17			3	33
芦北町	2		8	11	120	28	1	31	201
津奈木町	1	1	5	8	10			8	33
計	4	1	19	25	147	28	1	42	267
錦町	11	10	7	11	28	3		14	84
上村	10	3	1	26	34	10		6	90
免田町	6							4	10
岡原村	5		2	1	6	3	1	3	21
多良木町	18	4	14	9	46	56	3	17	167
湯前町	3		3	1	9	26	1	5	48
水上村	3		3	24	112	38	4	9	193
須恵村	1	2	2	1	3	5		3	17
深田村	1	1	4	3	6	1		5	21
相良村	3	4	2	4	39	32		11	95
五木村			10	34	116	85	4	3	252
山江村	4		8	6	62	28		13	121
球磨村	3		1	6	87	90	5	15	207
計	104	24	51	126	518	377	18	108	1,326
大矢野町	3	2	20	2	1	1		9	38
松島町	5	1	15	21	2	1		7	52
有明町	2	1	34	9	6			8	60
姫戸町			2	6	7	1		3	19
竜ヶ岳町	2		1	3	8	7	1	4	18
御所浦町				1	14	2		4	21

(単位 km²)

傾斜区分 市町村名	0°～3°	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°～30°	30°～40°	40°以上	未区分地	総面積
倉岳町	2		6	11	2	1		3	25
栖本町	2		7	13	1	1		8	32
新和町	3	1	15	19	9	1		8	56
五和町	5	3	33		1			8	50
荅北町	8		14	9	22			13	66
天草町	3		4	10	50	1		16	84
河浦町	2		12	27	60	3		16	120
計	37	8	163	131	182	13		107	641
郡計	645	540	1,183	723	1,524	543	33	771	5,962
県合計	887	585	1,458	896	1,786	581	36	1,148	7,377

2-2 標高区分別面積市町村別内訳

(単位 Km²)

標高区分 市町村	0~100m	100~ 200m	200~ 400m	400~ 600m	600~ 800m	800~ 1000m	1000~ 1500m	1500m ~	未区分地	合計	備考
熊本市	71	11	6	-	-	-	-	-	84	172	
八代市	65	15	15	4	-	-	-	-	44	143	
人吉市	1	35	49	50	40	-	-	-	36	211	
荒尾市	17	4	3	1	-	-	-	-	33	58	
水俣市	15	27	56	26	4	-	-	-	36	164	
玉名市	50	9	5	1	-	-	-	-	24	89	
本渡市	61	35	21	4	-	-	-	-	23	144	
山鹿市	34	16	13	2	-	-	-	-	22	87	
牛深市	41	32	2	-	-	-	-	-	14	89	
菊池市	2	30	39	43	23	2	-	-	44	183	
宇土市	35	16	7	-	-	-	-	-	17	75	
計	392	230	216	131	67	2	-	-	377	1415	
北部町	14	2	2	-	-	-	-	-	12	30	
河内町	-	7	14	6	-	-	-	-	7	34	
鮑田村	9	-	-	-	-	-	-	-	3	12	
天明村	13	-	-	-	-	-	-	-	6	19	
計	36	9	16	6	-	-	-	-	28	95	
三角町	25	12	4	-	-	-	-	-	7	48	
不知火町	12	5	7	-	-	-	-	-	5	29	
計	37	17	11	-	-	-	-	-	11	77	
城南町	24	1	-	-	-	-	-	-	12	37	
富合村	12	1	-	-	-	-	-	-	7	20	
松橋町	26	1	-	-	-	-	-	-	11	38	
小川町	20	7	3	1	-	-	-	-	9	40	
小豊村	6	13	3	-	-	-	-	-	10	32	
中央村	-	15	13	4	2	-	-	-	8	42	
砥用町	11	19	21	12	8	8	9	-	14	102	
計	99	57	40	17	10	8	9	-	71	311	
岱明町	16	1	-	-	-	-	-	-	5	22	
横島町	10	-	-	-	-	-	-	-	2	12	
天水町	9	4	3	1	-	-	-	-	5	22	
玉東町	9	6	5	-	-	-	-	-	4	24	
菊水町	21	5	1	-	-	-	-	-	11	38	
三加和町	19	16	11	-	-	-	-	-	14	60	
南関町	34	15	2	-	-	-	-	-	19	70	
長洲町	12	-	-	-	-	-	-	-	4	16	
計	30	47	22	1	-	-	-	-	64	264	
鹿北町	7	20	29	15	9	-	-	-	6	86	
鹿鹿町	15	21	19	7	5	-	-	-	10	77	
鹿本町	12	-	-	-	-	-	-	-	6	18	

市町村	標高区分									未区分地	合計	備考
	0~100m	100~200m	200~400m	400~600m	600~800m	800~1000m	1000~1500m	1500m~				
鹿央町	15	8	2	-	-	-	-	-	-	6	31	
植木町	36	9	4	1	-	-	-	-	-	15	65	
計	85	58	54	23	14	-	-	-	-	43	277	
七城町	15	-	-	-	-	-	-	-	-	5	20	
旭志村	2	11	8	6	5	3	-	-	-	11	46	
大津町	4	27	26	12	11	5	-	-	-	14	99	
大菊陽町	14	15	-	-	-	-	-	-	-	8	37	
合志町	11	10	-	-	-	-	-	-	-	8	29	
泗水町	13	7	-	-	-	-	-	-	-	6	26	
西合志町	17	-	-	-	-	-	-	-	-	9	26	
計	76	70	34	18	16	8	-	-	-	61	283	
一〇宮町	-	-	-	31	38	26	3	1	6	105		
阿蘇町	-	-	1	70	28	85	10	-	5	199		
南小国村	-	-	-	50	31	20	4	-	10	115		
小国町	-	-	17	69	26	10	8	-	6	136		
産山村	-	-	-	33	14	12	-	-	2	61		
波野村	-	-	-	-	47	19	-	-	5	71		
蘇陽町	-	-	-	48	38	19	-	-	14	119		
高森町	-	-	-	11	65	60	8	1	30	175		
白水町	-	-	1	16	12	6	8	-	5	48		
久木野村	-	-	6	16	9	9	-	-	3	51		
長陽村	-	-	7	15	7	4	2	-	4	39		
西原村	-	11	32	14	12	5	-	-	3	77		
計	-	11	64	373	327	275	51	2	93	1196		
御船町	21	13	28	5	3	-	-	-	28	98		
嘉島町	12	-	-	-	-	-	-	-	5	17		
益城町	26	20	8	-	-	-	-	-	12	66		
甲佐町	19	16	9	1	-	-	-	-	13	58		
矢部町	-	-	37	97	58	39	30	-	35	296		
清和村	-	-	1	30	43	25	20	-	10	129		
計	78	49	83	133	104	64	50	-	103	664		
坂本村	15	27	41	39	23	4	-	-	13	162		
千丁村	9	-	-	-	-	-	-	-	2	11		
鏡町	20	-	-	-	-	-	-	-	7	27		
竜北村	17	-	-	-	-	-	-	-	2	19		
竜宮原町	4	2	2	-	-	-	-	-	2	10		
東陽村	2	7	17	18	10	5	-	-	6	65		
泉村	-	12	25	26	30	87	75	5	7	267		
計	67	48	85	83	63	96	75	5	39	561		
田浦町	17	8	4	1	-	-	-	-	3	33		
芦北町	30	52	53	22	11	2	-	-	31	201		
津奈木町	8	11	5	1	-	-	-	-	8	33		
計	55	71	62	24	11	2	-	-	42	267		

標高区分 市町村	0~100m	100~ 200m	200~ 400m	400~ 600m	600~ 800m	800~ 1000m	1000~ 1500m	1500m ~	未区分地	合計	備考
	錦町	-	32	11	9	13	5	-	-	14	84
上村	-	13	14	17	18	13	9	-	6	90	
免田町	-	6	-	-	-	-	-	-	4	10	
岡原村	-	5	4	7	2	-	-	-	3	21	
多良木町	-	25	31	37	53	4	-	-	17	167	
湯前町	-	4	13	16	6	4	-	-	5	48	
水上村	-	3	18	32	33	49	49	-	9	193	
須恵村	-	4	5	4	1	-	-	-	3	17	
深田村	-	7	8	1	-	-	-	-	5	21	
相良村	-	22	20	26	7	7	2	-	11	95	
五木村	-	-	18	40	68	82	41	-	3	252	
山江村	-	16	19	25	27	21	-	-	13	121	
球磨村	-	26	71	52	38	4	-	-	15	207	
計	1	163	232	266	266	189	101	-	108	326	
大矢野町	29	-	42	-	-	-	-	-	9	38	
松島町	29	13	3	-	-	-	-	-	7	52	
有明町	31	12	8	1	-	-	-	-	8	60	
姫戸町	5	7	4	-	-	-	-	-	3	19	
竜ヶ岳町	9	3	2	-	-	-	-	-	4	18	
御所浦町	7	3	3	-	-	-	-	-	4	21	
倉岳町	12	5	3	2	-	-	-	-	3	25	
栖本町	8	9	5	2	-	-	-	-	8	32	
新和町	31	15	2	-	-	-	-	-	8	56	
五和町	32	10	-	-	-	-	-	-	8	50	
苓北町	29	11	11	-	-	-	-	-	13	66	
天草町	11	26	30	2	-	-	-	-	16	84	
河浦町	53	34	17	1	-	-	-	-	16	120	
計	290	148	88	8	-	-	-	-	107	641	
郡計	954	748	791	952	811	642	286	7	771	5962	
県合計	1346	978	1007	1083	878	644	286	7	1148	7377	

2-3 地形区分別面積市町村別内訳

(単位 km²)

地形区分 市町村名	山地・火山地					丘陵地			台地・段丘			低地				未区分地	合計	備考
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	中起伏	計	砂礫	ロム	計	扇状地性	三角州性	自然砂堤州	計			
熊本市		1	19	6	26	5	1	6		30	30	9	7	10	26	84	172	
八代市		17	15		32		1	1			-	2	64		66	44	143	
人吉市		42	105		147			-		15	15	13			13	36	211	
荒尾市		1	5	1	7		2	2		10	10	4		2	6	33	58	
水俣市		43	71	7	121			-			-	3	4		7	36	164	
玉名市			11	20	31		6	6		5	5	10	13		23	24	89	
本渡市		12	52	37	101			-			-	13	7		20	23	144	
山鹿市			22	5	27		13	13		13	13	12			12	22	87	
牛深市		4	50	10	64		1	1		5	5	4	1		5	14	89	
菊池市		34	40	36	110			-		14	14	15			15	44	183	
宇土市		2	21	15	38			-		4	4	3	13		16	17	75	
計		156	411	137	704	5	24	29		96	96	88	109	12	209	377	1415	
北部町			2	3	5			-		10	10	3			3	12	30	
河内町		5	19	3	27			-			-					7	34	
飽田村								-			-		9		9	3	12	
天明村								-			-		13		13	6	19	
計	-	5	21	6	32	-	-	-	-	10	10	3	22		25	28	95	
三角町		1	10	17	28		6	6				4	3		7	7	48	
不知火町		1	14	4	19			-		1	1		4		4	5	29	
計		2	24	21	47		6	6		1	1	4	7		11	12	77	
城南町			2		2	2		2		11	11	3	7		10	12	37	
富合村			3		3			-		1	1		9		9	7	20	
松橋町			2		2	5		5		6	6	2	12		14	11	38	
小川町			15	5	20		1	1			-		10		10	9	40	
豊野村			5		5	12		12		2	2	3			3	10	32	
中央村	5	11	13		29			-		4	4	1			1	8	42	
砥用町	10	20	55		85			-				3			3	14	102	
計	15	31	95	5	146	19	1	20	-	24	24	12	38	-	50	71	311	
岱明町								-		7	7	2	6	1	9	5	22	
横島町							1	1			-		9		9	2	12	
天水町		3	6	2	11			-			-		6		6	5	22	
玉東町		10	5	3	18			-			-	2			2	4	24	
菊水町			17	4	21		3	3			-	3			3	11	38	
三加和町			19	6	25		15	15			-	6			6	14	60	
南関町			19	8	27		20	20			-	4			4	19	70	
長洲町					0			0		4	4	1	5	2	8	4	16	
計	0	13	66	24	103	0	39	39	0	11	11	18	26	3	47	46	264	
鹿北町		32	42	3	77			-			-	3			3	6	86	
菊鹿町	6	13	24	12	55			-			-	12			12	10	77	

地形区分 市町村名	山地・火山地					丘陵地			台地・段丘			低地				未 区 分 地	合計	備考
	大 起 伏	中 起 伏	小 起 伏	山 麓 地	計	大 起 伏	小 起 伏	計	砂 礫	ロ ム	計	扇 状 地 性	三 角 州 性	自 防 然 砂 堤 州	計			
鹿本町				1	1			-		2	2	9			9	6	18	
鹿央町			11	3	14		8	8				3			3	6	31	
植木町		2	1	6	9	2		2		27	27	12			12	15	65	
計	6	47	78	25	156	2	8	10		29	29	39	-	-	39	43	277	
七城町					-			-		8	8	7			7	5	20	
旭志村		9	6	8	23			-		8	8	4			4	11	46	
大津町		8	25	10	43			-		30	30	12			12	14	99	
菊陽町					-			-		24	24	5			5	8	37	
合志町					-	1		1		20	20				0	8	29	
泗水町					-			-		10	10	10			10	6	26	
西合志町					-			-		17	17					9	26	
計	0	17	31	18	66	1	0	1	0	117	117	38	0	0	38	61	283	
一〇宮町	6	5	41	32	83			-				16			16	6	105	
阿蘇町	1	39	73	35	148			-				46			46	5	199	
南小国町		18		85	103			-				2			2	10	115	
小国町	4	10	63	52	129			-				1			1	6	136	
産山村			6	51	57			-				2			2	2	61	
波野村		1	3	59	63			-				3			3	5	71	
蘇陽町		5	8	90	103			-				2			2	14	119	
高森町	5	14	32	91	142			-				3			3	30	175	
白水村	4	3	12	15	34			-				9			9	5	48	
久木野村	16	7	16	4	43			-				5			5	3	51	
長陽村		9	15	8	32			0			0	3			3	4	39	
西原村		12	56	1	69			-		5	5	-			-	3	77	
計	36	123	325	523	1006			0		5	5	92			92	93	1197	
御船町			26	24	50			-		6	6	9	5		14	28	98	
嘉島町					0			-		2	2		10		10	5	17	
益城町			13		13			-		24	24	3	14		17	12	66	
甲佐町		4	12	3	19	5		5		5	5	12	4		16	13	58	
矢部町	48	41	95	66	250			-				11			11	35	296	
清和町	13	35	2	63	113			-				6			6	10	129	
計	61	80	148	156	445	5		5		37	37	41	33		74	103	664	
坂本村	31	19	99		149			-				0				13	162	
千丁村					-			-					9		9	2	11	
鏡町					-			-					20		20	7	27	
竜北村					-		4	4					13		13	2	19	
宮原町		2	3		5			-					3		3	2	10	
東陽村	5	34	18		57			-				2			2	6	65	
泉村	191	49	20		260			-								7	267	
計	227	104	140		471	0	4	4	0	0	0	2	45	0	47	39	561	
田浦町		7	20	3	30			-				0	0		0	3	33	

地形区分 市町村名	山地・火山地					丘陵地			台地・段丘			低地				未 区 分 地	合計	備考
	大 起 伏	中 起 伏	小 起 伏	山 麓 地	計	大 起 伏	中 起 伏	計	砂 礫	口 I △	計	扇 状 地 性	三 角 州 性	自 防 砂 堤 州	計			
芦北町		27	133	2	162			-			-	6	2		8	31	201	
津奈木町			3	17	23			-			-	1	1		2	8	33	
計	0	37	170	8	215	-	-	-	-	-	-	7	3	-	10	42	267	
錦町	6	14	13		33			-	2	22	24	13			13	14	84	
上村	42	0	23		65			-		7	7	12			12	6	90	
免田町					0			-		3	3	3			3	4	10	
岡原村		7	2		9			-		9	9	0			0	3	21	
多良木町	24	51	41		116			-		19	19	15			15	17	167	
湯前町	10	13	3	11	37			-		3	3	3			3	5	48	
水上村	89	92	2		183			-		0	0	1			1	9	193	
須恵村		6	3	1	10			-		1	1	3			3	3	17	
深田村			6	4	10			-		3	3	3			3	5	21	
相良村	18	39	9		66			-	4	9	13	5			5	11	95	
五木村	134	96	19		249			-			-				3	3	252	
山江村	38	45	14		97			-		9	9	2			2	13	121	
球磨村	11	118	56		185			-		3	3	4			4	15	207	
計	372	481	191	16	1060			-	6	88	94	64			64	108	1326	
大矢野町					0	1	2	3		22	22		4		4	9	38	
松島町			30	10	40			-				3	2		5	7	52	
有明町		4	23	19	46			-				1	5		6	8	60	
姫戸町		3	8	4	15			-				1			1	3	19	
竜ヶ岳町		6	5	1	12			-		2	2					4	18	
御所浦町		5	4		9			-		8	8					4	21	
倉岳町	5	5	7	3	20			-				1	1		2	3	25	
栖本町	2	7	9	4	22			-				1	1		2	8	32	
新和町			30	10	40			-		1	1	2	5		7	8	56	
五和町			5	31	36			-		1	1	4	1		5	8	50	
茶北町			35	9	44			-				5	3		8	13	66	
天草町			58	6	64			-				3	1		4	16	84	
河浦町		3	91	4	98			-				4	2		6	16	120	
計	7	33	305	101	446	1	2	3	-	35	35	25	25	-	50	107	641	
郡部計	724	973	1454	903	4193	28	60	88	6	357	363	390	102	3	547	771	5962	
合計	724	1129	1865	1040	4897	33	84	117	6	453	459	433	308	15	756	1148	7377	

2-4 表層地質分布面積市町村別内訳

表層地質 市町村名	未固結堆積物				半固結堆積物				団結堆積物											
	砂・礫・粘土	砂	泥	碎屑物	計	礫・砂	泥岩	砂岩・礫岩	計	礫岩	砂岩	泥岩(粘板岩)	砂岩・泥岩	砂岩・礫岩	チャート	砂岩・礫岩	チャート	石灰岩	輝緑凝灰岩	計
熊本市	85	-	-	-	85	54	-	-	54	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3
八代市	82	-	-	-	82	2	-	-	2	-	-	-	6	38	-	-	-	1	-	45
人吉市	22	-	-	-	22	7	13	5	25	-	6	9	6	-	-	-	-	-	-	21
荒尾市	14	5	-	-	19	18	-	-	18	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3
水俣市	11	-	-	-	11	-	-	-	-	-	11	-	-	1	-	-	-	-	-	12
玉名市	35	-	-	-	35	6	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
本渡市	16	-	-	-	16	-	-	14	14	-	50	56	8	-	-	-	-	-	114	
山鹿市	29	-	-	-	29	8	-	-	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
牛深市	3	-	-	-	3	-	-	-	-	17	14	8	45	-	-	-	-	-	84	
菊池市	19	-	-	-	19	20	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
宇土市	23	-	-	-	23	7	-	-	7	1	1	1	6	-	-	-	-	-	9	
計	339	5	-	-	344	122	13	19	154	21	83	77	71	41	-	-	2	-	295	
北部町	4	-	-	-	4	5	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
河内町	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
飽田村	12	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
天明村	19	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	39	-	-	-	39	5	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三角町	8	-	-	-	8	-	-	-	-	2	3	4	7	-	-	-	-	-	16	
不知火町	6	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	14	-	-	-	14	-	-	-	-	2	3	4	7	-	-	-	-	-	16	
城南町	16	-	-	-	16	14	-	-	14	2	1	3	1	-	-	-	-	-	7	
富合村	16	-	-	-	16	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
松橋町	20	-	-	-	20	12	-	-	12	-	-	5	-	-	-	-	-	-	5	
小川町	15	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
豊野村	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	3	2	-	-	-	2	-	10	
中央村	6	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	-	4	-	17	
砥用町	2	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	77	-	-	2	-	80	
計	80	-	-	-	80	26	-	-	26	7	4	11	3	2	88	-	10	-	125	
岱明町	12	1	-	-	13	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
横島町	11	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
天水町	8	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
玉東町	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	

(単位：km²)

火山碎屑物	火山性岩性								深成岩				変成岩				合計		
	シラス	ロム	集塊岩	溶結(軽石灰質)岩1	溶結凝灰岩2	流紋岩	安山岩	計	斑岩	花崗岩	蛇紋岩	斑れ岩	計	ホルンフェルス	緑色片岩	黒色片岩		片麻岩	計
-	-	-	4	8	-	-	18	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	172
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	9	-	5	-	-	5	143
-	4	-	-	3	13	-	123	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	211
-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	14	-	-	14	-	-	-	-	-	58
-	1	-	-	-	-	-	140	141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	164
-	-	-	-	9	-	-	8	17	-	28	-	-	28	-	-	2	-	2	89
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	144
-	-	-	-	21	-	-	-	21	-	18	-	-	18	-	-	9	-	9	87
-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89
-	-	-	-	69	-	-	47	116	-	26	-	-	26	-	-	1	-	1	183
-	-	-	9	3	-	-	24	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75
-	5	-	13	119	13	-	360	510	-	87	8	-	95	-	5	12	-	17	1,415
-	-	-	1	7	-	-	3	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
-	-	-	1	-	1	-	28	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
-	-	-	2	17	1	-	31	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95
-	-	-	19	-	-	-	5	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
-	-	-	12	-	-	-	11	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
-	-	-	31	-	-	-	16	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	38
-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	12	1	-	13	-	4	-	5	9	40
-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	14	14	32
-	-	-	-	5	-	-	-	5	-	8	2	-	10	-	-	-	4	4	42
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	8	-	-	-	12	12	102
-	-	-	-	8	-	-	-	8	-	29	4	-	33	-	4	-	35	39	311
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	22
-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
-	-	-	-	-	-	-	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
-	-	-	-	4	-	-	13	17	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	24

表層地質 市町村名	未固結堆積物					半固結堆積物				固結堆積物									
	砂・礫・粘土	砂	泥	碎屑物	計	礫砂	泥岩	砂岩・礫岩	計	礫岩	砂岩	泥岩(粘板岩)	砂岩・泥岩	砂岩・礫岩	チャート	砂岩・礫岩	石灰岩	輝緑凝灰岩	計
菊水町	6	—	—	—	6	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三加和町	9	—	—	—	9	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南関町	5	—	—	—	5	8	—	—	8	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
長洲町	9	1	—	—	10	6	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	63	2	—	—	65	23	—	—	23	—	—	—	1	—	—	—	1	—	2
鹿北町	4	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
菊鹿町	9	—	—	—	9	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿本町	17	—	—	—	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿央町	5	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
植木町	12	—	—	—	12	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	47	—	—	—	47	4	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七城町	9	—	—	—	9	7	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
旭志村	5	—	—	—	5	11	—	—	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大津町	3	—	—	—	3	56	—	—	56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
菊陽町	3	—	—	—	3	26	—	—	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合志町	1	—	—	—	1	27	—	—	27	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
泗水町	9	—	—	—	9	8	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西合志町	1	—	—	—	1	21	—	—	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	31	—	—	—	31	156	—	—	156	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
一の宮町	14	—	—	13	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿蘇町	46	—	—	25	71	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南小国町	—	—	—	—	—	—	4	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小国町	5	—	—	—	5	—	8	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
産山村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
波野村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蘇陽町	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	6	—	—	7
高森町	—	—	—	15	15	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
白水町	8	—	—	12	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
久木野村	3	—	—	17	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長陽村	1	—	—	6	7	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西原村	—	—	—	5	5	1	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	2
計	79	—	—	93	172	3	12	—	15	2	—	—	—	1	—	—	6	—	10

(単位：km²)

火山性岩石									深成岩					火成岩				合計	
火山 碎屑物	シ ラ ス	ロ ム	集 塊 岩	溶 結 軽 石 質 灰 岩1	溶 結 凝 灰 岩2	流 紋 岩	安 山 岩	計	斑 岩	花 崗 岩	蛇 紋 岩	斑 れ の 岩	計	ホ ル ン フ ェ ル ス	緑 色 片 岩	黒 色 片 岩	片 麻 岩		計
-	-	-	-	-	11	-	-	11	-	17	-	-	17	-	-	3	-	3	38
-	-	-	-	-	9	-	-	9	-	7	2	11	20	-	-	21	-	21	60
-	-	-	-	-	29	-	-	29	-	19	-	-	19	-	-	8	-	8	70
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
-	-	-	-	4	49	-	28	81	-	45	2	11	58	-	-	35	-	35	264
-	-	-	-	-	17	-	13	30	-	6	-	13	19	-	-	33	-	33	86
-	-	-	-	-	16	-	26	42	-	14	-	8	22	-	-	2	-	2	77
-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
-	-	-	-	17	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	1	8	-	9	31
-	-	-	-	42	-	-	3	45	-	-	-	-	-	-	6	-	6	65	
-	-	-	-	60	33	-	42	135	-	20	-	21	41	-	1	49	-	50	277
-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
-	-	-	-	8	-	-	22	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
-	-	-	-	23	-	-	17	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99
-	-	-	-	2	-	-	6	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
-	-	-	-	9	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	26	
-	-	-	-	49	-	-	45	94	-	-	-	-	-	-	1	-	1	283	
13	-	-	-	-	53	-	12	78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105
16	-	-	-	-	70	-	42	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	199
18	-	-	-	-	65	-	28	111	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	115
-	-	-	-	-	45	14	64	123	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	136
20	-	-	-	-	35	-	6	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61
1	-	-	-	-	69	-	1	71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71
-	-	-	-	-	106	-	4	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	119
8	-	-	-	-	108	7	36	159	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	175
8	-	-	-	-	-	-	20	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
-	-	-	-	-	1	-	30	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51
4	-	-	-	-	-	-	26	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39
-	-	-	-	-	25	-	43	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77
88	-	-	-	-	576	21	312	997	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1,197

表層地質 市町村名	未固結堆積物				半固結堆積物				固性堆積物											
	砂・礫・粘土	砂	泥	碎屑物	計	礫砂	泥岩	砂岩・礫岩	計	礫岩	砂岩	泥岩(粘板岩)	砂岩泥岩	砂岩・礫岩	チャート	砂岩・礫岩	チャート	石灰岩	輝緑凝灰岩	計
御船町	9	-	-	-	9	17	-	-	17	1	-	5	18	3	-	-	-	-	-	47
嘉島町	14	-	-	-	14	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
益城町	13	-	-	-	13	19	-	-	19	1	-	10	3	-	-	-	-	-	-	14
甲佐町	18	-	-	-	18	-	-	-	-	1	-	-	11	4	-	-	3	-	-	19
矢部町	3	-	-	-	3	12	-	-	12	1	2	-	61	-	39	-	11	-	-	114
清和村	9	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	28	-	6	-	2	13	-	49
計	66	-	-	-	66	50	-	-	50	4	2	35	121	7	45	-	16	13	-	243
坂本村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	40	80	-	5	-	-	149
千丁村	11	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鏡町	27	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
龍北村	14	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮原町	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
東陽村	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	26	22	-	-	4	-	-	52
泉村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	72	23	113	-	27	20	-	263
計	57	-	-	-	57	-	-	-	-	1	7	-	122	85	193	-	38	20	-	466
田浦町	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	8	10	8	-	-	-	-	26
芦北町	11	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94	-	10	-	-	104
津奈木町	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	6
計	17	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	8	10	108	-	10	-	-	136
錦町	12	-	-	-	12	20	-	-	20	-	-	21	24	-	-	-	-	-	-	45
上村	4	-	-	-	4	12	-	-	12	-	-	68	6	-	-	-	-	-	-	74
免田村	4	-	-	-	4	5	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡原村	-	-	-	-	-	8	-	-	8	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	13
多良木町	12	-	-	-	12	15	-	-	15	-	-	124	6	-	-	-	-	-	-	130
湯前町	4	-	-	-	4	5	-	-	5	-	-	24	14	-	-	-	-	-	-	38
水上村	4	-	-	3	7	-	-	-	-	-	27	65	36	-	-	-	-	-	-	128
須恵村	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	10
深田村	4	-	-	-	4	2	-	-	2	-	-	6	2	-	-	-	-	-	-	8
相良村	8	-	-	-	8	11	-	-	11	-	39	27	-	-	-	-	-	1	-	67
五木村	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	89	-	-	10	-	-	12	17	-	250
山江村	5	-	-	-	5	6	-	4	10	-	66	2	-	-	-	-	9	8	-	102
球磨村	4	-	-	-	4	1	-	2	3	-	64	-	-	-	-	-	15	15	-	126
計	67	-	-	3	70	85	-	6	91	-	285	360	88	10	-	-	37	40	-	991

(単位：km²)

火山性岩石								深成岩					変成岩				合計		
火山 砕屑物	シ ラ ス	ロ ーム	集 塊 岩	溶 結 凝 灰 岩 ¹ (軽石質)	溶 結 凝 灰 岩 ²	流 紋 岩	安 山 岩	計	斑 岩	花 崗 岩	蛇 紋 岩	斑 れ い 岩	計	ホ ン フ ェ ル ス	緑 色 片 岩	黒 色 片 岩		片 麻 岩	計
-	-	-	-	-	21	-	4	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98
-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
-	-	-	-	-	10	-	7	17	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	66
-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	18	18	58
-	-	-	-	-	117	-	27	144	-	4	1	-	5	-	-	1	17	18	296
-	-	-	-	-	64	-	2	66	-	2	3	-	5	-	-	-	-	-	129
-	-	-	-	-	214	-	41	255	-	6	6	-	12	-	-	3	35	38	664
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	13	-	-	-	-	-	162
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	3	-	-	3	-	-	-	-	-	19
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3	-	2	-	-	2	10
-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	6	-	7	-	3	-	-	3	65
-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1	267
-	-	-	-	-	5	-	-	5	-	7	20	-	27	-	6	-	-	6	561
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	33
-	1	-	-	-	1	-	84	86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	201
-	-	-	-	-	-	-	24	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33
-	1	-	-	-	1	-	108	110	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	267
-	5	-	-	-	2	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90
-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
-	-	-	-	-	10	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	167
-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39	-	-	39	19	-	-	-	19	193
-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
-	-	-	-	-	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
-	-	-	-	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95
-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	252
-	-	-	-	-	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	121
-	-	-	-	-	1	-	73	74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	207
-	6	-	-	-	37	-	73	116	-	39	-	-	39	19	-	-	-	19	1,326

表層地質 市町村名	未固結堆積物				半固結堆積物				固結堆積物											
	砂礫 粘土	砂	泥	碎屑 物	計	礫 砂	泥 岩	砂岩・ 礫岩	計	礫 岩	砂 岩	泥岩 (粘板岩)	砂岩・ 泥岩	砂岩・ 礫岩	砂岩・ 礫岩	チャ ート	チャ ート	石 灰岩	輝 綠 凝 灰 岩	計
大矢野町	2	-	-	-	2	1	-	11	12	1	-	-	17	1	-	-	-	-	-	19
松島町	5	-	-	-	5	-	-	-	-	3	-	-	26	17	-	-	-	-	-	46
有明町	7	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	45
姫戸町	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	14	1	-	-	1	-	-	17
龍ヶ岳町	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	10	1	-	-	-	-	-	12
御所浦町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-	4	-	-	-	-	-	-	20
倉岳町	3	-	-	-	3	5	-	-	5	-	-	-	12	5	-	-	-	-	-	17
栖本町	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	24
新和町	9	-	-	-	9	-	-	-	-	-	19	1	27	-	-	-	-	-	-	47
五和町	4	-	-	-	4	-	-	13	13	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	29
荅北町	4	-	-	-	4	3	-	-	3	-	9	12	18	19	-	-	-	-	-	58
天草町	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	37	25	-	-	-	-	-	66
河浦町	9	-	-	-	9	-	-	-	-	-	23	13	51	24	-	-	-	-	-	111
計	51	-	-	-	51	9	-	24	33	7	70	55	285	93	-	-	1	-	-	511
郡計	611	2	-	96	709	361	12	30	403	23	372	430	638	234	612	-	112	80	-	2,501
合計	951	7	-	96	1,054	483	25	49	557	44	455	507	709	274	613	-	114	80	-	2,796

(単位: km²)

火山性岩石								深成岩					変成岩				合計		
火山 碎屑物	シ ラ ス	ロ ム	集 塊 岩	溶 結 凝 灰 岩 ¹ (軽石質)	溶 結 凝 灰 岩 ²	流 紋 岩	安 山 岩	計	斑 岩	花 崗 岩	蛇 紋 岩	斑 れ い 岩	計	ホル ンフ ェルス	緑 色 片 岩	黒 色 片 岩		片 麻 岩	計
-	-	-	1	-	-	1	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52
-	-	-	-	-	-	4	3	7	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	60
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	19
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	3	-	-	2	-	2	18
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	21
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
-	-	-	-	-	-	2	-	2	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	32
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56
-	-	-	-	-	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66
-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	66
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	13	84
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120
-	-	-	1	-	4	10	6	21	3	5	1	-	9	-	-	16	-	16	641
93	2	-	34	126	939	31	696	1,921	3	151	38	32	224	19	11	116	70	428	5,962
93	7	-	47	134	1049	44	1056	2,430	3	238	46	32	319	19	16	16	70	540	7,377

2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土壤統群	未 熟 土				黒 ボ ク 土							褐 色 森 林 土										
	残積性未熟土壌	粗粒残積性未熟土壌	粗粒火山抛出处未熟土壌	風化火山抛出处未熟土壌	計	厚層黒ボク土壌	黒ボク土壌	粗粒黒ボク土壌	多湿黒ボク土壌	黒ボクグライ土壌	淡色黒ボク土壌	粗粒淡色黒ボク土壌	計	乾性褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌(黄褐色)	乾性褐色森林土壌(赤褐色)	褐色森林土壌	褐色森林土壌(黄褐色)	褐色森林土壌(赤褐色)	湿性褐色森林土壌	計	
市町村																						
本 市	—	—	—	—	—	18	—	—	1	—	16	—	35	4	—	14	—	—	4	—	—	22
八代市	1	3	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	7	18	—	11	7	—	—	—	43
人吉市	—	—	—	9	9	2	30	—	6	—	0	—	38	3	—	16	25	—	71	—	—	115
荒尾市	2	1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	—	—	2	—	—	—	17
水俣市	4	0	1	—	5	—	1	—	—	—	0	—	1	—	—	66	—	—	47	—	—	113
玉名市	6	5	—	—	11	—	—	—	—	—	5	—	5	2	4	—	9	7	—	—	—	22
本渡市	23	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46	—	—	26	—	—	—	72
山鹿市	3	—	—	—	3	—	—	—	1	—	11	—	12	1	—	5	8	—	14	—	—	28
牛深市	28	7	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	—	—	9	—	—	—	32
菊池市	—	—	—	—	—	8	32	—	3	—	21	—	64	7	—	—	45	—	—	—	—	52
宇土市	7	2	—	—	9	—	—	—	—	—	1	—	1	2	—	16	3	—	5	—	—	26
市部計	74	18	1	9	102	28	63	—	11	—	54	—	156	26	106	117	101	51	141	—	—	542
北 部 町	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	8	—	13	—	—	2	—	—	1	—	—	—
河内町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	18	—	—	6	—	—	3
鮑田村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	24
天明村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	10	—	15	—	—	20	—	—	7	—	—	27
三 角 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不知火町	12	1	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	8	2	—	2	—	—	16
計	6	1	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	2	—	—	10
	18	2	—	—	20	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	16	2	—	4	—	—	26
城 南 町	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	5	—	6	2	—	—	4	—	—	—	—	6
富合村	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	2
松橋町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	0	3	—	0	9	—	—	—	—	12
小川町	1	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	5	—	1	10	—	—	—	—	—	16
豊野村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	6	—	1	7	—	—	—	—	14
中央村	2	—	—	—	2	—	1	—	—	—	2	—	3	4	—	—	20	—	—	—	—	24
砥用町	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	69	—	—	—	—	77
計	5	1	—	—	6	—	2	—	—	—	9	—	11	29	—	2	120	—	—	—	—	151
袋 明 町	0	1	—	—	1	—	—	—	—	—	5	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	2
横 島 町	0	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：km²)

赤黄色土			褐色低地土			灰色低地上				グライ土				泥炭土			岩石地	未区分地		合 計
赤 色 土 壤	黄 色 土 壤	計	褐 色 低 地 土 壤	粗 粒 褐 色 低 地 土 壤	計	細 粒 灰 色 低 地 土 壤	灰 色 低 地 土 壤	粗 粒 灰 色 低 地 土 壤	計	細 粒 グ ラ イ 土 壤	グ ラ イ 土 壤	粗 粒 グ ラ イ 土 壤	計	低 位 泥 炭 土 壤	黒 泥 土 壤	計	岩 石 地	宅 地	公 共 用 地 そ の 他	
—	—	—	0	—	0	5	13	—	18	6	2	3	11	0	2	2	—	27	57	172
—	1	1	1	—	1	6	8	1	15	2	26	7	35	—	—	—	—	9	35	143
—	—	—	0	—	0	—	5	4	9	—	3	1	4	—	—	—	—	4	32	211
—	0	0	—	—	—	1	0	2	3	2	—	—	2	—	—	—	—	3	30	58
—	—	—	—	4	4	—	—	5	5	0	—	—	0	—	—	—	—	3	33	164
—	1	1	2	—	2	9	2	4	15	3	2	4	9	—	—	—	—	4	20	89
0	1	1	—	6	6	2	6	4	12	3	2	1	6	1	—	1	—	3	20	144
1	2	3	5	—	5	8	1	3	12	1	1	0	2	—	—	—	—	4	18	87
—	3	3	—	—	—	—	1	1	2	3	0	—	3	—	—	—	—	1	13	89
—	6	6	—	—	—	14	—	2	16	—	—	1	1	—	—	—	—	3	41	183
1	1	2	—	1	1	12	—	—	12	—	6	1	7	—	—	—	—	4	13	75
2	15	17	8	11	19	57	36	26	119	20	42	18	80	1	2	3	—	65	312	1,415
—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	1	11	30
—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	7	34
—	—	—	—	—	—	4	—	—	4	1	1	2	4	—	—	—	—	1	2	12
—	—	—	—	—	—	8	—	—	8	—	1	4	5	—	—	—	—	1	5	19
—	—	—	—	—	—	12	2	—	14	1	4	6	11	—	—	—	—	3	25	95
1	3	4	0	2	2	2	—	—	2	2	1	1	4	—	—	—	—	1	6	48
—	—	—	—	1	1	3	—	—	3	2	—	1	3	—	—	—	—	—	5	29
1	3	4	0	3	3	5	—	—	5	4	1	2	7	—	—	—	—	1	11	77
—	0	0	—	1	1	9	2	—	11	1	0	—	1	—	—	—	—	2	10	37
—	—	—	—	—	—	8	—	—	8	1	1	—	2	—	—	—	—	1	6	20
—	0	0	0	—	0	6	2	—	8	4	2	1	7	—	—	—	—	2	9	38
—	1	1	—	—	—	2	3	1	6	3	1	2	6	—	—	—	—	2	7	40
—	1	1	—	—	—	2	1	1	4	—	1	—	1	—	—	—	—	—	10	32
—	1	1	—	—	—	—	3	—	3	—	1	—	1	—	—	—	—	1	7	42
—	3	3	2	1	3	1	2	1	4	—	—	0	0	—	—	—	—	1	13	102
—	6	6	2	2	4	28	13	3	44	9	6	3	18	—	—	—	—	9	62	311
—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	5	1	—	6	1	—	1	—	—	5	22
—	—	—	—	—	—	3	1	1	5	1	2	2	5	—	—	—	—	1	1	12

土壌統群		未 熟 土				黒 ボ ク 土							褐 色 森 林 土										
		残積性未熟土壌	粗粒残積性未熟土壌	粗粒火山抛出处未熟土壌	風化火山抛出处未熟土壌	計	厚層黒ボク土壌	黒ボク土壌	粗粒黒ボク土壌	多湿黒ボク土壌	黒ボクグライ土壌	淡色黒ボク土壌	粗粒淡色黒ボク土壌	計	乾性褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌(黄褐色)	幹性褐色森林土壌(赤褐色)	褐色森林土壌	褐色森林土壌(黄褐色)	褐色森林土壌(赤褐色)	湿性褐色森林土壌	計	
市町村																							
天水町	0	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	—	—	2	—	—	12	
玉東町	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	7	3	—	4	—	—	15	
菊水町	2	1	—	1	4	—	—	—	—	—	5	—	5	1	—	—	12	—	—	—	—	13	
三加和町	2	3	—	—	5	—	—	—	—	—	2	—	2	1	—	4	6	—	19	—	—	30	
南関町	1	2	—	—	3	—	—	—	—	—	7	—	7	1	4	1	12	4	5	—	—	27	
長洲町	0	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	2	
計	6	8	—	1	15	—	—	—	—	—	20	—	20	4	8	22	33	4	30	—	—	101	
鹿北町	2	2	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	7	16	—	42	—	—	69	
菊鹿町	1	—	—	—	1	—	2	—	0	—	2	—	4	6	—	1	35	—	8	—	—	50	
鹿本町	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	1	
鹿央町	3	0	—	1	4	—	—	—	—	—	4	—	4	3	—	—	6	—	—	—	—	9	
鹿木町	3	—	—	1	4	—	0	—	0	—	22	—	22	1	—	2	3	—	1	—	—	7	
計	9	2	—	2	13	—	2	—	1	—	29	—	32	14	—	10	60	—	52	—	—	136	
七旭町	—	0	—	—	0	—	—	—	3	—	2	—	5	—	—	—	1	—	—	—	—	1	
志津町	—	—	—	—	—	9	21	—	—	—	1	—	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
大津町	—	—	—	—	—	27	37	—	—	—	10	—	74	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
菊陽町	—	—	—	—	—	19	—	—	2	—	2	—	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合志町	—	—	—	—	—	16	—	—	3	—	1	—	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
酒水町	—	—	—	—	—	10	—	—	1	—	3	—	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
西合志町	—	—	—	—	—	9	—	—	1	—	5	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	0	—	—	0	90	58	—	10	—	24	—	182	—	—	—	1	—	—	—	—	1	
一ノ宮市	—	—	20	—	20	40	6	—	5	6	12	6	75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
阿蘇町	—	—	13	—	13	32	65	—	19	3	10	22	151	—	—	—	6	—	—	—	—	6	
南小国町	—	—	—	—	—	30	31	—	1	—	—	—	62	1	—	—	31	—	—	—	—	32	
小国町	—	—	—	—	—	5	53	—	1	—	1	—	60	3	—	—	56	—	—	—	—	59	
産山村	—	—	—	—	—	14	27	—	7	—	10	—	58	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
波野村	—	—	2	—	2	18	31	—	1	—	6	8	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
蘇陽村	—	—	—	—	—	1	79	—	4	—	9	—	93	2	—	—	9	—	—	—	—	11	
高森町	—	—	27	—	27	—	30	—	1	—	74	8	113	2	—	—	—	—	—	—	—	2	
白水村	—	—	20	—	20	0	1	—	1	—	11	5	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
久木野村	—	—	—	—	—	6	27	—	2	—	1	—	36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
長陽村	—	—	4	—	4	—	7	—	1	—	16	5	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
西原村	—	—	—	—	—	14	45	—	1	—	12	0	72	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	86	—	86	160	402	—	44	9	162	54	831	8	—	—	102	—	—	—	—	110	

(単位：km²)

赤黄色土			褐色低地土			灰色低地土			グライ土			泥炭土			岩石地	未区分地		合計			
赤色土壌	黄色土	計	褐色低地土	粗粒褐色低地土	計	細粒灰色低地土	灰色低地土	粗粒灰色低地土	計	細粒グライ土	グライ土	粗粒灰色低地土	計	低位泥炭土	黒泥土	計	岩石地		宅地	公共用地その他	
—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	3	1	—	4	—	—	—	—	1	4	22	
—	—	—	—	—	—	3	0	—	3	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	4	24
—	—	—	—	—	—	3	1	1	5	—	0	—	0	—	—	—	—	—	11	38	
1	1	2	0	—	0	4	3	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	1	13	60	
—	—	—	—	2	2	11	—	1	12	0	—	—	0	—	—	—	—	—	19	70	
—	—	—	1	1	2	4	0	0	4	2	—	—	2	—	—	—	—	—	4	16	
1	3	4	1	3	4	29	5	3	37	12	4	2	18	1	—	1	—	3	61	264	
—	1	1	—	—	—	2	—	1	3	—	1	2	3	—	—	—	—	1	5	86	
—	—	—	—	1	1	7	—	3	10	—	0	1	1	—	—	—	—	—	10	77	
—	1	1	2	2	4	1	—	3	4	0	0	0	0	—	—	—	—	—	6	18	
—	—	—	—	—	—	2	2	1	5	2	—	0	2	—	1	1	—	1	5	31	
—	3	3	1	—	1	5	4	—	9	4	—	—	4	—	0	0	—	4	11	65	
—	5	5	3	3	6	17	6	8	31	6	1	3	10	—	1	1	—	6	37	277	
—	—	—	1	—	1	3	—	3	6	0	1	1	2	—	—	—	—	1	4	20	
—	0	0	—	—	—	3	—	—	3	1	—	—	1	—	—	—	—	1	10	46	
—	4	4	—	—	—	3	4	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	2	12	99	
—	1	1	—	—	—	1	4	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	2	6	37	
—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	6	29	
—	—	—	—	—	—	5	—	—	5	1	0	—	1	—	—	—	—	1	5	26	
—	1	1	—	—	—	1	—	—	1	0	—	—	0	—	—	—	—	—	9	26	
—	7	7	1	—	1	16	8	—	27	2	1	1	4	—	—	—	—	9	52	283	
—	—	—	—	—	—	1	1	—	2	—	—	—	—	—	1	1	1	2	4	105	
—	—	—	—	—	—	2	1	—	3	—	—	—	—	12	6	18	3	3	2	199	
—	3	3	1	—	1	3	2	—	6	—	1	—	1	—	—	—	—	1	9	115	
—	—	—	1	—	1	2	7	—	9	—	1	—	1	—	—	—	—	1	5	136	
—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	61	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	71	
—	—	—	—	—	—	0	—	—	0	—	1	—	1	—	—	—	0	1	13	119	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	2	2	28	175	
—	—	—	—	—	—	4	1	—	5	—	—	0	0	—	—	—	0	1	4	48	
—	1	1	1	—	1	6	2	—	8	—	1	—	1	—	—	—	1	—	3	51	
—	0	0	0	—	0	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	39	
—	1	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	77	
—	6	6	4	—	4	18	16	1	35	—	4	1	5	12	7	19	7	14	79	1196	

土壌統群	未 熟 土				黒 ボ ク 土							褐 色 森 林 土										
	残積性未熟土壌	粗粒残積性未熟土壌	粗粒火山拋出物未熟土壌	風化火山拋出物未熟土壌	計	厚層黒ボク土壌	黒ボク土壌	粗粒黒ボク土壌	多湿黒ボク土壌	黒ボクグライ土壌	淡色黒ボク土壌	粗粒淡色黒ボク土壌	計	乾性褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌(黄褐色)	乾性褐色森林土壌(赤褐色)	褐色森林土壌	褐色森林土壌(黄褐色)	褐色森林土壌(赤褐色)	湿性褐色森林土壌	計	
市町村																						
御嘉益甲矢清	3	—	—	—	3	5	7	—	1	—	7	—	20	8	—	—	29	—	—	—	—	37
船島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
城町	—	—	—	—	—	18	1	—	—	—	10	—	29	2	—	1	10	—	—	—	—	13
佐部	1	—	1	—	2	—	—	—	—	—	9	—	9	4	—	—	20	—	—	—	—	24
和村	1	—	—	—	1	3	70	—	8	—	16	—	97	28	—	—	110	—	—	—	3	141
計	1	—	—	—	1	21	13	—	5	—	17	—	56	15	—	—	40	—	—	—	—	55
	6	—	1	—	7	97	91	—	14	—	61	—	213	57	—	1	209	—	—	—	3	270
坂本	1	2	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—	1	34	4	—	99	2	—	—	—	139
千丁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鏡北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
龍宮	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2
東陽	1	0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	3	—	—	—	—	4
泉村	1	—	—	—	1	—	0	—	—	—	—	—	0	10	—	1	44	—	—	—	—	55
計	3	—	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—	1	56	—	—	191	—	—	—	8	255
	7	2	—	—	9	—	2	—	—	—	—	—	2	101	4	3	337	2	—	—	8	455
田浦	—	4	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	1	21	—	0	2	—	—	—	24
芦北	1	2	—	—	3	—	—	—	—	—	2	—	2	22	18	28	44	5	29	—	—	146
津奈木	0	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	17	—	—	3	—	—	22
計	1	6	—	—	7	—	—	—	—	—	2	—	2	23	41	45	44	7	32	—	—	192
錦上	—	—	—	2	2	14	4	—	4	—	2	0	24	8	—	—	28	—	—	—	—	36
免田	—	—	—	—	—	9	3	1	0	—	—	—	13	17	—	—	49	—	—	—	—	66
岡原	—	—	—	—	—	1	0	—	3	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
多良木	—	—	—	—	—	1	0	—	2	—	—	—	3	3	—	—	7	—	—	—	—	10
湯上	—	1	—	—	1	—	15	—	2	—	1	0	18	44	—	—	67	—	—	—	—	111
水前	—	—	—	—	—	—	1	—	6	—	—	—	7	9	—	—	24	—	—	—	—	33
須上	—	—	—	—	—	—	6	—	1	—	—	—	7	51	—	—	119	—	—	—	1	171
深田	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	0	7	—	—	4	—	—	—	—	11
相良	1	0	—	—	1	2	1	—	—	—	—	—	3	2	—	—	7	—	—	—	—	9
五木	1	—	—	2	3	5	8	—	—	—	—	—	13	18	—	—	46	—	—	—	—	64
山江	3	—	—	—	3	—	7	—	—	—	—	—	7	57	—	—	175	—	—	—	7	239
球磨	2	1	—	0	3	—	2	—	—	—	0	—	2	25	—	—	74	—	—	—	—	99
計	—	3	—	—	3	—	1	—	0	—	—	—	1	21	—	17	97	—	50	—	—	185
	7	5	—	4	16	32	48	1	18	—	3	0	102	262	—	17	697	—	50	8	1,034	

(単位：km²)

赤黄色土			褐色低地土			灰色低地土				グライ土				泥炭土			岩石地	未区分地		合計
赤土壌	黄色土	計	褐色低地土	粗粒褐色低地土	計	細粒灰色低地土	灰色低地土	粗粒灰色低地土	計	細粒グライ土	グライ土	粗粒グライ土	計	低位泥灰土	黒泥土	計	岩石地	宅地	公共用地その他	
—	1	1	1	—	1	3	4	1	8	—	—	—	—	—	—	—	—	2	26	98
—	—	—	—	—	—	4	—	2	6	4	0	—	4	—	—	—	—	1	4	17
—	—	—	—	—	—	—	7	2	9	2	—	—	2	—	1	1	—	3	9	66
—	—	—	1	1	2	1	5	2	8	—	—	—	—	—	—	—	—	2	11	58
—	1	1	1	1	2	3	9	1	13	—	5	—	5	—	—	—	1	2	33	296
—	—	—	—	—	—	2	4	—	6	—	—	—	—	—	—	—	1	1	9	129
—	2	2	3	2	5	13	29	8	50	6	5	—	11	—	1	1	2	11	92	664
—	—	—	—	—	—	—	0	2	2	—	—	1	1	—	—	—	1	—	13	162
—	—	—	—	—	—	7	—	—	7	—	1	1	2	—	—	—	—	1	1	11
—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	4	10	4	18	—	—	—	—	2	5	27
—	—	—	—	—	—	1	1	1	3	7	2	2	11	—	—	—	—	1	1	19
—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	1	—	0	1	—	—	—	—	—	2	10
—	1	1	—	—	—	1	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	65
—	1	1	—	—	—	—	0	—	0	—	—	0	0	—	—	—	—	—	7	267
—	4	4	—	—	—	11	2	5	18	12	13	8	33	—	—	—	1	4	35	561
—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	1	—	—	—	—	1	2	33
—	2	2	4	3	7	2	—	6	8	1	1	—	2	—	—	—	0	2	29	201
—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	1	0	—	1	—	—	—	—	1	7	33
—	4	4	4	3	7	2	—	7	9	3	1	—	4	—	—	—	0	4	38	267
—	—	—	3	—	3	—	3	2	5	—	0	—	0	—	—	—	—	2	12	84
—	0	0	—	—	—	2	1	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	5	90
—	—	—	—	—	—	1	1	0	2	—	0	—	0	—	—	—	—	1	3	10
—	—	—	—	—	—	2	3	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	21
—	3	3	2	—	2	7	5	1	13	—	1	1	2	—	—	—	—	1	16	167
—	—	—	—	—	—	2	0	0	2	—	—	0	0	—	—	—	1	1	4	48
—	—	—	1	—	1	2	1	1	4	—	1	—	1	—	—	—	—	—	9	193
—	—	—	1	—	1	—	2	—	2	—	0	—	0	—	—	—	—	—	3	17
—	—	—	0	—	0	—	2	—	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	5	21
—	—	—	—	—	—	—	2	2	4	—	0	—	0	—	—	—	—	—	11	95
—	—	—	—	—	—	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	252
—	—	—	—	—	—	—	3	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	1	12	121
—	—	—	0	—	0	—	1	1	2	—	0	—	0	—	—	—	1	—	15	207
—	3	3	7	—	7	16	24	10	50	—	3	1	4	—	—	—	2	8	100	1,326

土壤統群	未 熟 土				黒 ボ ク 土								褐 色 森 林 土									
	残積性未熟土壌	粗粒残積性未熟土壌	粗粒火山抛出物未熟土壌	風化火山抛出物未熟土壌	計	厚層黒ボク土壌	黒ボク土壌	粗粒黒ボク土壌	多湿黒ボク土壌	黒ボクグライ土壌	淡色黒ボク土壌	粗粒淡色黒ボク土壌	計	乾性褐色森林土壌	乾性褐色森林土壌(黄褐色)	乾性褐色森林土壌(赤褐色)	乾性褐色森林土壌	褐色森林土壌(黄褐色)	褐色森林土壌(赤褐色)	湿性褐色森林土壌	計	
大 矢 野 町	14	1	—	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	2
松 島 町	10	3	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	2	—	6	—	—	—	22
有 明 町	17	3	—	—	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	—	—	6	—	—	—	22
姫 戸 町	7	1	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	1	—	—	—	6
龍 ヶ 岳 町	8	2	—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	—	—	—	3
御 所 浦 町	13	3	—	—	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
倉 岳 町	8	0	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	3	—	—	—	10
栖 本 町	5	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	1	—	6	—	—	—	15
新 和 町	17	—	—	—	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	—	—	8	—	—	—	24
五 和 町	9	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	—	—	10	—	—	—	26
荅 北 町	19	4	—	—	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	1	—	10	—	—	—	26
天 草 町	13	8	—	—	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26	—	—	16	—	—	—	42
河 浦 町	24	1	—	—	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	—	—	21	—	—	—	66
計	164	26	—	—	190	—	—	—	—	—	0	—	0	1	170	6	—	88	—	—	—	265
郡 部 計	223	52	87	7	369	329	605	1	92	9	320	54	1410	503	223	142	1605	101	175	19	2768	
合 計	297	70	88	16	471	357	668	1	103	9	374	54	1566	529	329	259	1706	152	316	19	3310	

(単位：km²)

赤黄色土			褐色低地土			灰色低地土			グライ土			泥灰土			岩石地	未区分地		合計		
赤色土壌	黄色土壌	計	褐色低地土壌	粗粒褐色低地土壌	計	細粒灰色低地土壌	灰色低地土壌	粗粒褐色低地土壌	計	細粒グライ土壌	グライ土壌	粗粒グライ土壌	計	低位泥炭土壌	黒泥土	計	岩石地		宅地	公共用地その他
0	3	3	-	-	-	-	-	0	0	5	4	-	9	-	-	-	-	1	8	38
-	2	2	-	1	1	2	0	1	3	2	-	2	4	-	-	-	-	2	5	52
-	-	-	-	-	-	3	1	6	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	60
-	-	-	-	-	-	0	-	0	0	1	-	1	2	-	-	-	-	-	3	19
-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	4	18
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	21
-	-	-	-	2	2	-	-	1	1	1	-	0	1	-	-	-	-	-	3	25
-	-	-	-	-	-	1	-	2	3	1	0	-	1	-	-	-	-	-	8	32
-	2	2	-	0	0	1	-	2	3	2	0	-	2	-	-	-	-	-	8	56
1	1	2	-	-	-	1	1	2	4	1	-	-	1	-	-	-	-	1	7	50
0	1	1	-	-	-	2	0	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	66
-	2	2	-	-	-	1	2	0	3	0	-	-	0	-	-	-	-	1	15	84
-	3	3	-	-	-	5	2	1	8	1	1	-	2	-	-	-	-	1	15	120
1	14	15	-	4	4	16	6	17	39	14	5	3	22	-	-	-	-	8	98	641
3	57	60	25	20	45	183	111	65	359	69	48	30	147	13	9	22	12	80	690	5,962
5	72	77	33	31	64	240	147	91	478	89	90	48	227	14	11	25	12	145	1002	7,377

3. 土地利用可能性分級

3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

(単位：km²)

土地利用可能性分級 市町村	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	未区分地	計
熊本市	12	33	32	11	0	0	0	84	172
八代市	8	10	47	34	0	0	0	44	143
人吉市	3	5	55	94	18	0	0	36	211
荒尾市	2	2	17	3	0	1	0	33	58
水俣市	0	3	38	73	11	0	3	36	164
玉名市	9	12	27	17	0	0	0	24	89
本渡市	2	7	52	60	0	0	0	23	144
山鹿市	12	10	27	16	0	0	0	22	87
牛深市	0	1	6	68	0	0	0	14	89
菊池市	12	6	57	52	12	0	0	44	183
宇七市	10	4	31	12	1	0	0	17	75
計	70	93	389	440	42	1	3	377	1,415
飽託郡									
北部町	0	6	12	0	0	0	0	12	30
河内町	0	0	15	12	0	0	0	7	34
飽田町	4	2	1	2	0	0	0	3	12
天明町	8	0	1	4	0	0	0	6	19
計	12	8	29	18	0	0	0	28	95
宇土郡									
三角町	1	0	30	10	0	0	0	7	48
不知火町	2	0	17	5	0	0	0	5	29
計	3	0	47	15	0	0	0	12	77
下益城郡									
城南町	8	12	4	1	0	0	0	12	37
富合村	7	0	5	1	0	0	0	7	20
松橋町	13	4	10	0	0	0	0	11	38
小川町	2	2	19	8	0	0	0	9	40
豊野村	2	3	13	4	0	0	0	10	32
中央村	3	2	11	15	2	0	1	8	42
砥用町	3	4	22	44	12	1	2	14	102
計	38	27	84	73	14	1	3	71	311
玉名郡									
岱明町	0	6	11	0	0	0	0	5	22
横島町	4	2	2	2	0	0	0	2	12

(単位：km²)

土地利用 可能性 分級 市町村	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	未 区 分 地	計
天 水 町	1	6	7	3	0	0	0	5	22
玉 東 町	0	0	17	3	0	0	0	4	24
菊 水 町	3	7	14	3	0	0	0	11	38
三加和町	4	5	21	16	0	0	0	14	660
南 関 町	2	7	33	9	0	0	0	19	70
長 洲 町	3	2	7	0	0	0	0	4	16
計	17	35	112	36	0	0	0	64	264
鹿 水 郡									
鹿 北 町	0	4	19	57	0	0	0	6	86
菊 鹿 町	1	8	24	29	5	0	0	10	77
鹿 本 町	4	3	5	0	0	0	0	6	18
鹿 央 町	0	7	15	3	0	0	0	6	31
植 木 町	4	23	21	2	0	0	0	15	65
計	9	45	84	91	5	0	0	43	277
菊 池 郡									
七 城 村	5	2	7	1	0	0	0	5	20
旭 志 村	2	6	14	12	1	0	0	11	46
大 津 町	3	30	22	25	5	0	0	14	99
菊 陽 町	2	24	2	1	0	0	0	8	37
合 志 町	0	17	4	0	0	0	0	8	29
泗 水 町	6	11	3	0	0	0	0	6	26
西合志町	0	14	3	0	0	0	0	9	26
計	18	104	55	39	6	0	0	61	283
阿 蘇 郡									
一の宮町	0	1	58	33	4	3	0	6	105
阿 蘇 町	0	3	64	96	26	5	0	5	199
南小国町	0	5	76	24	0	0	0	10	115
小 国 町	0	8	55	66	1	0	0	6	136
産 山 村	0	0	35	24	0	0	0	2	61
波 野 村	0	0	52	12	2	0	0	5	71
蘇 陽 町	0	6	73	26	0	0	0	14	119
高 森 町	0	0	81	36	26	2	0	30	175
白 水 村	1	4	4	13	19	2	0	5	48
久木野村	2	6	14	21	4	1	0	3	51
長 陽 村	0	3	3	19	10	0	0	4	39
西 原 村	0	5	31	36	2	0	0	3	77

(単位：km²)

土地利用 可能性 分級 市町村	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	未 区 分 地	計
計	3	41	546	406	94	13	0	93	1,196
上益城郡									
御船町	2	3	20	45	0	0	0	28	98
嘉島町	3	1	8	0	0	0	0	5	17
益城町	0	28	14	12	0	0	0	12	66
甲佐町	1	14	15	15	0	0	0	13	58
矢部町	0	4	116	121	20	0	0	35	296
清和村	0	9	57	47	6	0	0	10	129
計	6	59	230	240	26	0	0	103	664
八代郡									
坂本村	1	1	29	99	19	1	0	13	162
千丁村	7	0	1	1	0	0	0	2	11
鏡町	1	0	15	4	0	0	0	7	27
竜北村	1	1	14	1	0	0	0	2	19
宮原町	2	1	5	0	0	0	0	2	10
東陽村	2	0	8	43	6	0	0	6	65
泉村	1	0	9	141	95	2	12	7	267
計	15	3	80	289	120	3	12	39	561
芦北郡									
田浦町	0	1	7	22	0	0	0	3	33
芦北町	10	0	12	125	23	0	0	31	201
津奈木町	0	2	8	15	0	0	0	8	33
計	10	3	27	162	23	0	0	42	267
球磨郡									
錦町	2	20	15	30	3	0	0	14	84
上村	2	12	6	54	10	0	0	6	90
免田村	1	2	3	0	0	0	0	4	10
岡原村	2	2	3	7	3	0	1	3	21
多良木町	5	11	19	58	53	0	4	17	167
湯前町	2	3	3	10	24	0	1	5	48
水上村	1	0	4	121	52	1	5	9	193
須恵村	0	2	3	3	6	0	0	3	17
深田村	2	1	3	9	1	0	0	5	21
相良村	2	9	7	38	28	0	0	11	95
五木村	0	0	5	148	91	1	4	3	252

(単位：km²)

土地利用可能性分級 市町村	土地利用可能性分級							未区分地	計
	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地		
山江村	1	3	9	67	28	0	0	13	121
球磨村	7	1	1	88	91	1	3	15	207
計	27	66	81	633	390	3	18	108	1,326
天草郡									
大矢野町	0	0	23	5	1	0	0	9	38
松島町	0	1	16	27	1	0	0	7	52
有明町	1	0	33	18	0	0	0	8	60
姫戸町	0	0	2	14	0	0	0	3	19
竜ヶ岳町	0	0	2	11	1	0	0	4	18
御所浦町	0	0	0	14	3	0	0	4	21
倉岳町	0	0	2	19	1	0	0	3	25
栖本町	0	0	7	16	1	0	0	8	32
新和町	0	2	22	24	0	0	0	8	56
五和町	2	4	35	1	0	0	0	8	50
茶北町	2	1	15	35	0	0	0	13	66
天草町	0	1	3	61	3	0	0	16	84
河浦町	0	2	16	83	3	0	0	16	120
計	5	11	176	328	14	0	0	107	641
郡合計	163	402	1,551	2,330	692	20	33	771	5,962
合計	233	495	1,940	2,770	734	21	36	1,148	7,377

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

(単位：km²)

土地利用可能性分級 地形区分	土地利用可能性分級							未区分地	合計	備考
	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地			
火山・火山地	84	133	1,348	2,566	709	21	36		4,897	
丘陵地	4	23	58	28	4	—	—		117	
台地・段丘	19	152	225	42	21	—	—		459	
低地	126	187	309	134	—	—	—		756	
未区分地								1,148	1,148	
合計	233	495	1,940	2,770	734	21	36	1,148	7,377	

3-2-2 土地利用可能性分級と自然条件との関係 (傾斜)

(単位: km²)

傾斜 \ 土地利用可能性分級	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	未区分地	合計
0°~3° (S ₁)	233	294	284	64	9	2	—		887
3°~8° (S ₂)	—	201	335	39	10	—	—		585
8°~15° (S ₃)	—	—	321	104	33	—	—		1,458
15°~30° (S ₄)	—	—	—	2,562	109	11	—		2,682
30°~40° (S ₅)	—	—	—	—	575	6	—		581
40°~ (S ₆)	—	—	—	—	—	—	36		36
未区分地								1,148	1,148
合計	233	495	1,940	2,770	734	21	36	1,148	7,377

3-2-3 土地利用可能性分級と自然条件との関係 (標高)

(単位: km²)

土地利用可能性分級		1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	未区分地	合計
低地 暖帯 (H ₁)	0 ~ 100 m	233	381	472	132	124	—	4		1,346
	100 ~ 200 m	—	32	408	440	95	—	3		978
	200 ~ 400 m	—	30	278	655	36	1	7		1,007
山地 間帯 (H ₂)	400 ~ 600 m 又は(400~植栽限界)	—	22	385	520	145	6	5		1,083
	600 ~ 800 m 又は(600~植栽限界)	—	17	245	563	47	3	3		878
高地 冷帯 (H ₃)	800 ~ 1,000 m (植栽限界~1,000)	—	13	101	399	124	1	6		644
	1,000 ~ 1,300 m (1,000~森林限界)	—	—	38	55	108	10	7		235
生界 産地 限界 (H ₄)	1,300 m以上 (森林限界以上)	—	—	3	11	43	—	1		58
合計		233	495	1,940	2,770	734	21	36	1,148	7,377

3-2-4 土地利用可能性分級と自然条件との関連（土壤生産力可能性）

（単位：km²）

土壤生産力 可能性	区 分							未 区 分 地	合 計
	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地		
はなはだよい (P ₁)	233	90	296	951	400	—	29		1,999
ややよい (P ₂)	—	405	926	650	82	2	2		2,067
やや劣る (P ₃)	—	—	718	1,074	171	3	5		1,971
劣る (P ₄)	—	—	—	95	81	5	—		181
はなはだ劣る (P ₅)	—	—	—	—	—	11	—		11
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—		1,148
合 計	233	495	1,940	2,770	735	18	36	1,148	7,377

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

土地利用可能性分級 地域の概要		1 類 地	2 類 地	3 類 地	
地 域 名 (団 地 名)		熊 本 平 野	球 磨 盆 地	八 代 平 野	
地 形	傾 斜 (谷 密 度)	S ₁ (0 ~ 3°) 0	S ₁ ~ S ₃ (0 ~ 15°) 0 ~ 30	S ₁ (0 ~ 3°) 0	
	標 高 (植 栽 限 界)	0 ~ 100m	0 ~ 200m	0 ~ 100m	
表層地質	岩 石 の 種 類 " かたさ 時 代	沖 積 層 軟 第四紀 (沖 積 世)	沖 積 層 ・ 泥 岩 ・ 砂 ・ 礫 シルト岩 軟 第四紀 (沖 積 世)	砂 ・ 礫 ・ 粘 土 軟 第四紀 (沖 積 世)	
土 壤	農 田	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級	細 粒 灰 色 低 地 土 壤 I 灰 色 低 地 土 壤 II 細 粒 グ ラ イ 土 壤 III	灰 色 低 地 土 壤 II 粗 粒 灰 色 低 地 土 壤 III 多 湿 黒 ボ ク 土 壤 III 褐 色 低 地 土 壤 I	細 粒 灰 色 低 地 土 壤 I 灰 色 低 地 土 壤 II グ ラ イ 土 壤 III 粗 粒 グ ラ イ 土 壤 IV
		土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級	淡 色 黒 ボ ク 土 壤 II 厚 層 黒 ボ ク 土 壤 III 黒 ボ ク 土 壤 III 粗 粒 黒 ボ ク 土 壤 III 風 化 火 山 抛 出 物 未 熟 土 壤 III		残 積 性 未 熟 土 壤 III 粗 粒 残 積 性 未 熟 土 壤 IV
	草 地	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級	—	—	—
	林 地	土 壤 統 群 地 位 級	—	—	—
水 利 用	地 表 水 地 下 水 天 水	○ ○ ×	○ △ ×	○ ○ ×	
気 候 区 分		九 州 型	"	"	
面 積	土 地 利 用 可 能 性 類 地 別 面 積 県 内 合 計 (A)	233	495	1,940	
	当 該 地 域 の 類 地 別 面 積 県 内 合 計 % (B) (B / A)	58 (24.8)	66 (13.3)	75 (3.8)	

4 類 地	5 類 地	6 類 地	7 類 地	(未区分地)
天草島しょ	九州山地	東部山地	九州山地	熊本平野
S ₁ ~S ₇ (0~40°) 0-30	S ₂ ~S ₇ (3°~)	S ₁ ~S ₇ (0~)	S ₂ ~S ₇ (3°~)	S ₁ (0~3°)
0 ~ 1400m	0 ~ 1800m	100 ~ 1600m	0 ~ 1800m	0 ~ 100m
砂岩・泥岩 中-硬 (古第三紀)	安山岩・砂岩・泥岩 硬 古生代・中生代 (古第三紀)	安山岩・凝灰岩 中-硬 第四紀 (洪積世・沖積世)	安山岩・砂岩・泥岩 硬 古生代・中生代・ 古第三紀	沖積層 軟 第四紀(沖積世)
細粒灰色低地土壌 I 粗粒褐色低地土壌 II 細粒グライ土壌 III	-	泥炭土壌 IV 黒泥土壌 IV 細粒灰色低地土壌 I 黒ボクグライ土壌 III	-	-
残積性未熟土壌 III 粗粒残積性未熟土壌 IV	-	厚層黒ボク土壌 III 黒ボク土壌 III 淡色黒ボク土壌 II	-	-
-	-	厚層黒ボク土壌 II 黒ボク土壌 II 淡色黒ボク土壌 I 粗粒淡色黒ボク土壌 II	-	-
褐色森林土壌 (黄褐系) II 乾性褐色森林土壌 (黄褐系) III 残積性未熟土壌 IV	褐色森林土壌 I 乾性褐色森林土壌 III 湿性褐色森林土壌 I	粗粒火山抛出版物未熟土壌 IV 厚層黒ボク土壌 II 黒ボク土壌 II 淡色黒ボク土壌 II 粗粒淡色黒ボク土壌 II	褐色森林土壌 I	-
○ × ×	○ × ×	○ × ×	○ × ×	○ ○ ×
"	"	"	"	"
2,770 176 (6.3)	734 562 (76.5)	21 13 (61.9)	36 33 (91.6)	1,148 129 (11.2)

3-4 土地利用可能性分級別団地の内訳

類 地 区 分	該 当 市 町 村 名	類地区分		土 地 利 用							
		の 内 訳		水 田	畑				草 地		
		類地区 区分 示性式	面 積 km ²		土地利用 占有率	普 通 畑		樹 園 地		土地利用 占有率	草地および 平均収量率
				土地利用 占有率		主要作物 および平均 収量率	土地利用 占有率	主要樹種 および平均 収量率			
I	熊本市・八代市 荒尾市・玉名市 菊池市・飽田町 天明町・三角町 不知火町・城南町 富合町・松橋町 小川町・豊野村 中央村・砥用町 横島町・菊陽町 泗水町・御船町 嘉島町・甲佐町 千丁村・鏡町 竜北村・宮原町	1.1.1	156	水稻 (120) 施設園芸							
I 類 地 形		156									
II	熊本市・八代市 荒尾市・玉名市 菊池市・北部町 飽田町・城南町 松橋町・小川町 豊野村・中央村 砥用町・岱明町 横島町・天水町 菊水町・三加和町 南関町・長洲町 鹿北町・菊鹿町 鹿本町・鹿央町 植木町・七城町 菊陽町・合志町 泗水町・西合志町 御船町・嘉島町 益城町・甲佐町 矢部町・竜北村 宮原町	1.1.2	185	水稻(100) 施設園芸 B	C	すいか たばこ 110	D	みかん 120			
		1.2.1	35	D	B	すいか たばこ 110	D	みかん 110			
		1.2.2	63	D			A	みかん 110			
		II 類 地 計		283							
III	熊本市・八代市 荒尾市・玉名市 菊池市・北部町 河内町・飽田町 天明町・三角町 不知火町・城南町 富合町・小川町・豊野村 中央村・砥用町 岱明町・横島町 天水町・玉東町 菊水町・三加和町 南関町・長洲町 鹿北町・菊鹿町	1.1.3	169	D	D	すいか たばこ 110	B	みかん 110			
		1.2.3	36	D	A	すいか たばこ 100	D	みかん 100			
		1.3.3	159	D	D	落花生 90	B	みかん 100			
		1.3.1	91	D	C	落花生 90					

類 地 区 分	該 当 市 町 村 名	類 地 区 分 の 内 訳		土 地 利						
		類 地 区 分 示 性 式	面 積 km ²	水 田 土 地 利 用 占 有 率	畑				草 地	
					普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 占 有 率	草 地 お よ び 平 均 収 穫 量 率
					土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率		
Ⅲ	鹿本町・鹿央町 植木町・七城町 菊陽町・合志町 泗水町・西合志町 御船町・嘉島町 益城町・甲佐町 矢部町・清和町 千丁村・鏡町 竜北村・宮原町	1.32	123		D	かんしょ 80				
		2.32	2							
Ⅲ	類 地 計	580								
Ⅳ	熊本市・八代市 荒尾市・玉名市 菊池市・河内町 飽田町・天明町 三角町・不知火町 城南町・富合村 小川町・豊野村 中央村・砥用町 横島町・天水町 玉東町・菊水町 三加和町・南関町 鹿北町・菊鹿町 鹿央町・植木町 七城町・菊陽町 御船町・益城町 甲佐町・矢部町 清和村・千丁村 鏡町・竜北村・ 宮原町	1.14	40	D	D	陸 稲 かんしょ 90	C	みかん 90		
		1.24	6	D	B	かんしょ 90	D	"		
		1.34	15	D			A	"		
		1.41	23	D			A	"		
		1.42	62	D			D	"		
		1.43	57	D			D	"		
		1.44	18	D			D	"		
		2.41	21	D			D	"		
		2.42	19							
		2.43	15							
Ⅳ	類 地 計	276								
V	菊鹿町	2.51	1							
V	類 地 計	1								

用 の 現 況					備 考
林 地					
人 工 林		天 然 林		空地・その他	
土地利用占有率	土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	
B	スギ・ヒノキ 100				
A	スギ・ヒノキ 90				
B	スギ・ヒノキ 80	D	雑木林(広) 40		
B	〃	D	〃		
B	〃	D	〃		
B	〃	D	〃		
C	スギ・ヒノキ 90	D	〃		
C	スギ・ヒノキ 90	D	〃		
		A	雑木林(広) 30		

類 地 区 分	該 当 市 町 村 名	類地区分 の内訳		土 地 利							
		類地区 分 示 性 式	面 積 km ²	水 田 土地利用 占有率	畑				草 地		
					普 通 畑		樹 園 地		土地利用 占有率	草地および 平均収獲量率	
					土地利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率			
VI	荒尾市	3.55	1								
VI 類 地 計		1									
未 区 分 地											
未 区 分 地		443									
合 計		1740									
I	菊池市・砥用町 菊鹿町・白水町 旭志村・大津町 久木野村・御船町 甲佐町	1.11	25								
I 類 地 計		25		A							
II	菊池市・砥用町 菊鹿町・旭志村	1.12	27	A	D	陸 稻 トウモロコシ 100					
	大津町・一の宮町 阿蘇町・南小国町 小国町・蘇陽町	1.21	12	A	D	陸 稻 トウモロコシ 100					
	白水村・久木野村 長陽村・西原村 御船町・甲佐町	1.22	34	A	D	陸 稻 トウモロコシ 100					
	矢部町・清和村	2.11	17	D	B	陸 稻 トウモロコシ 100					
		2.21	24	D	B	陸 稻 トウモロコシ 100					
II 類 地 計		114									
III	菊池市・砥用町 菊鹿町・旭志村	1.13	8		B	陸 稻 トウモロコシ 90					
	大津町・一の宮町 阿蘇町・南小国町 小国町・鹿山村	1.23	3		A	陸 稻 トウモロコシ 90			D	改良草地 及び野草 70	
	波野村・蘇陽町 高森町・白水村 久木野村・長陽村	1.33	28		D	陸 稻 トウモロコシ 80			D	〃	
	西原村・御船町										

用 の 現 況					備 考
林 地					
人 工 林		天 然 林		空地・その他	
土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率	
			A	雑木林 (広) 20	

東 部 火 山 地 域

					<p>本地域は大分、宮崎両県に接し、広大な低利用原野と観光資源等を内蔵しながら阿蘇五岳を中心に標高250～1,592mにいたる高原地域で平均標高は600mを越えている。</p> <p>本地域の主要河川の源は阿蘇山及び内輪の外壁に発する黒川、白川をはじめ、菊池川、緑川、筑後川、五カ瀬川大野川の6水系で白川を除く河川はいづれも阿蘇外輪を發し、それぞれ放射状に流れて流域に沖積平野を展開している。</p> <p>1. 地域内の主要河川と水利利用の概況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>河川名</th> <th>利用面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白川</td> <td></td> </tr> <tr> <td>黒川</td> <td>1,943.3km²</td> </tr> <tr> <td>筑後川</td> <td>988</td> </tr> <tr> <td>五カ瀬川</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>大野川</td> <td>285</td> </tr> <tr> <td>大淀川</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 開発計画</p> <p>① 高原地帯農業開発 大規模草地改良事業 草地畜産開発センター 九州種雄牛センター 共同利用模範牧場等</p> <p>② 菊池川総合開発 竜門ダム建設 ダム 1基 H = 103m、L = 375m V = 779.000m³</p>	河川名	利用面積	白川		黒川	1,943.3km ²	筑後川	988	五カ瀬川	178	大野川	285	大淀川	49
河川名	利用面積																		
白川																			
黒川	1,943.3km ²																		
筑後川	988																		
五カ瀬川	178																		
大野川	285																		
大淀川	49																		
B	スギ 120																		

類 地 区 分	該 当 市 町 村 名	類地区分 の内訳		土 地 利							
		類地区 区分 示性式	面積 km ²	水田 土地利用 占有率	畑				草 地		
					普 通 畑		樹 園 地				
					土地利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率	土地利用 占有率	草地および 平均収獲量率	
Ⅲ	甲佐町・矢部町 清和町	1.31	46							B	改良草地 及び野采 70
		1.32	82							B	"
		2.12	23							A	"
		2.22	217							A	"
		2.31	77							A	改良草地 及び野草 60
		2.32	294							A	改良草地 及び野草 60
Ⅲ	類 地 計	843									
Ⅳ	菊池市・砥用町 菊鹿町・旭志村 大津町・一の宮町 阿蘇町・南小国町 小国町・産山村 波野村・蘇陽町 高森町・白水村 久木野村・長陽村 西原村・御船町 甲佐町・矢部町 清和村	1.31	1	A							
		1.41	66		D	陸 稻 80				B	野 草 70
		1.42	37		D	陸 稻 80				B	"
		1.43	27		D	陸 稻 80				B	"
		2.13	19							B	"
		2.23	41							B	"
		2.33	33							B	"
		2.41	169							B	野 草 60
		2.42	239							B	野 草 60
		2.43	52							B	野 草 60
Ⅳ	類 地 計	684									
V		1.52	7		D	なたね 80					

用 の 現 況					備 考
林 地				空地・その他	
人 工 林		天 然 林			
土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	
D	スギ 110				
D	スギ 110				
D	スギ 100				
D	スギ 100				
D	スギ 100	D	広葉樹(雑木) 40		
D	スギ 100				
D	"				
D	"				
D	"				
C	"				
C	"				
C	"	D	広葉(雑木林) 30		
C	"	D	" 30		
C	"	D	" 30		
A	スギ 100				

類地区分	該 当 市 町 村 名	類地区分の内訳		土 地 利 用							
		類地区分 示性式	面積 km ²	水 田 土地利用 占有率	畑				草 地		
					普 通 畑		樹 園 地				
					土地利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収獲量率	土地利用 占有率	草地および 平均収獲量率	
		2.14	3							D	野 草 50
		2.24	12								
		2.34	13								
		2.44	35								
		2.51	14								
		2.52	19								
		3.41	20								
V 類 地 計		123									
VI	砥用町・一の宮町 阿蘇町・高森町 白水村・久木野村	2.15	1								
		2.35	3								
		2.45	5								
		3.44	3								
		3.45	1								
VI 類 地 計		13									
未 区 分 地											
		219									
合 計		2021									

用 の 現 況					備 考
林 地					
人 工 林		天 然 林		空地・その他	
土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	
A	スギ 100				
B	"	C	広葉(雑木林) 20		
B	"	C	"		
A	"	D	"		
B	"	D	"		
B	"	D	"		
B	"	D	"		
B	スギ 80	D	広葉(雑木林) 20		
B	スギ 80	D	"		
B	スギ 80	D	"		
D	スギ 80	A	"		
D	スギ 80	A	"		

類 地 区 分	該 当 市 町 村 名	類 地 区 分 の 内 訳		土 地 利 用						
		類 地 区 分 示 性 式	面 積 km ²	水 田 土地利用 占 有 率	畑				草 地	
					普 通 畑		樹 園 地			
					土地 利用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土地 利用 占 有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土地 利用 占 有 率	草 地 お よ び 平 均 収 穫 量 率
I	八代市・人吉市 中央村・砥用町 坂本村・東陽村 泉村・芦北町 上村・免田町 岡原村・多良木町 湯前町・水上村 相良村・山江村 球磨村	1.1.1	45	A						
I 類 地 計		45								
II	八代市・人吉市 水俣市・中央村 砥用町・矢部町 清和村、坂本村 田浦町・上村 免田町・岡原村 多良木町・湯前町 須恵村・深田村 相良村・山江村 球磨村・津奈木町	1.1.2	50	A	D	たばこ 90				
		1.2.1	3	A						
		1.2.2	25		B	たばこ かんしょ 90				
		2.1.1	1		A	＼				
II 類 地 計		79								
III	八代市・人吉市 水俣市・中央村 砥用町・坂本村 東陽村・泉村 田浦町・芦北町 津奈木町・上村 免田町・岡原村 多良木町・湯前町 水上村・須恵村 深田村・相良村 五木村・山江村 球磨村	1.1.3	62		D	たばこ かんしょ 80	A	みかん 100		
		1.2.3	29		D	＼	B	みかん 90		
		1.3.3	77				B	みかん 80		
		1.3.1	39							
		1.3.2	29							
		2.1.2								
		2.2.2								
		2.3.1	14							
		2.3.4	33							
III 類 地 計		283								

用 の 現 況					備 考
林 地					
人 工 林		天 然 林		空地・その他	
土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	
					<p>本県南部に位し、東南は鹿児島、宮崎の両県に接し北西は、それぞれ八代芦北両部に接している。</p> <p>四方はすべて九州山脈に囲まれて、外界と隔絶し、市房山、白髪岳、江代山等の急しゅんな山岳がそびえている。</p> <p>市房山麓に源を発する球磨川は人吉盆地の中央を東西に貫流し、万江川、山田川、川辺川、免田川、都川等大小40余の支流を合し、また幸溝、百太郎溝の農業用水を配し、豊富な水量を有している。</p> <p>1. 地域内河川の概況と農業用水</p> <p>① 球磨川、流域面積 1.882km² 年間流水量 43億m³ 取水量 3億3,000万m³ かんがい面積 13,000ha</p> <p>2. 開発計画</p> <p>① 球磨川水資源総合開発</p> <p>(イ) 川辺川ダム H=107.5m、L=310.3m、 V=10,600万m³</p> <p>(ロ) 五木ダム H=60.0m L=120.0m V=109,500m³</p> <p>(ハ) 川辺川地区総合かんがい排水事業 受益面積5,300ha</p> <p>② 氷川総合開発</p> <p>(イ) 氷川ダム H=56.5m、L=209m、 V=109,000m³</p> <p>③ 主要林道整備 大幹線林道 37,467m 幹線林道 76,600m</p>
C	スギ ヒノキ 130				
B	スギ ヒノキ 120	D	雑木林(広) 80		
B	スギ ヒノキ 120	D	雑木林(広) 80		
A	スギ ヒノキ 120	D	雑木林(広) 60		
A	スギ ヒノキ 120	D	雑木林(広) 60		

類 地 区 分	該 当 市 町 村 名	類地区分 の内訳		土 地 利 用						
		類地区 分 示 性 式	面 積 km ²	水 田 土地利用 占有率	畑				草 地	
					普 通 畑		樹 園 地			
					土地利用 占有率	主 要 作 物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主 要 作 物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	草 地 および 平均収穫量率
IV	人吉市・中央村 砥用町・清和村 坂本村・東陽村 泉村・芦北町 津奈木町・湯前町 水上村・須恵村 深田村・相良村 五木村・山江村 球磨村	1.14	3		A	かんしょ 80	D	みかん 80		
		1.34	4		A	かんしょ 80				
		1.41	179							
		1.42	66							
		1.43	140							
		1.44	4							
		2.13	1							
		2.33	16							
		2.41	482							
		2.42	166							
		2.43	293							
IV		1,354								
V	水俣市・中央村 砥用町・泉村 岡原村・多良木町 湯前町・水上村 五木村・球磨村	1.51	78							
		1.52	28							
		2.51	289							
		2.52	87							
		2.53	34							
		3.31	10							
		3.33	21							

用 の 現 況					備 考
林 地					
人 工 林		天 然 林		空 地 ・ そ の 他	
土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 占 有 率	
A	スギ・ヒノキ マツ 100	D	雑木林(広) 60		
A	スギ・ヒノキ マツ 100	D	雑木林(広) 60		
A	スギ・ヒノキ マツ 100	D	雑木林(広) 60		
A	スギ・ヒノキ 100				
A	スギ・ヒノキ 100				
A	スギ・ヒノキ 100				
B	スギ・ヒノキ 100	C	雑木林(広) 60		
B	スギ・ヒノキ 100	C	雑木林(広) 60		
B	スギ・ヒノキ 100	C	雑木林(広) 60		
A	スギ・ヒノキ 100				
A	スギ・ヒノキ 100				
A	スギ・ヒノキ 100				
A	スギ・ヒノキ 100				
B	スギ・ヒノキ 100	C	雑木林 40		
C	スギ・ヒノキ 80	B	雑木林 40		
C	スギ・ヒノキ 80	B	雑木林 40		

類 地 区 分	該 当 市 町 村 名	類地区分 の内訳		土 地 利 用						
		類地区 区分 示性式	面 積 km ²	水 田 土地利用 占有率	畑				草 地	
					普 通 畑		樹 園 地		草 地	
					土地利用 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	主 要 作 物 および平均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	草地および 平均収穫量率
		3.41	15							
		3.43	21							
V	類 地 計	596								
VI	坂本村・泉村・ 水上村・五木村 球磨村	2.45	2							
		3.51	3							
		3.53	2							
VI	類 地 計	7								
VII	球磨村・五木村 水上村・湯前町 多良木町・岡原村 泉村・中央村 砥用町・水俣市	1.61	4							
		2.61	22							
		2.63	10							
VII	類 地 計	36								
未 区 分 地		342								
合	計	2742								
I	本渡市・苓北町 五和町・有明町	1.11	7	A						
I	類 地 計	7								
II	本渡市・牛深市 松島町・新和町 五和町・苓北町 天草町・河浦町	1.12	14	A						
		1.21	2	A	D	かんしょ 90				
		1.22	3	A	D	かんしょ 90				

用 の 現 況					備 考
林		地			
人 工 林		天 然 林			
土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	
C	スギ・ヒノキ 80	B	雑木林 40		
		A	" 40		
		A	雑木林 30		
		A	"		
		A	"		
		A	雑木林 10		
		A	" 10		
		A	" 10		
天 草 島 し ょ 地 域					
					<p>本地域は四方が海に囲まれ昭和41年に天草架橋より本社と陸つづきになった。</p> <p>天草島は大矢野島、上島、下島の三島を主として、住民島22を含み大小120有余の島しょうからなっている。地勢は中央部は標高200～300mの起伏する山系がありこの山地を起点として海岸線は棚田状の耕地がある。</p> <p>本地域の河川は、それぞれの山頂を基点として放射状の河川でその利用は農業用水が大部分であり、河川長が短</p>

類 地 区 分	該 当 市 町 村 名	類地区分 の内訳		水田 土地利用 占有率	土 地 利					
		類地区分 示性式	面積 km ²		畑				草 地	
					普通畑		樹園地			
					土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要作物 および平均 収穫量率	土地利用 占有率	草地および 平均収穫量率
Ⅱ	類地計	19								
Ⅲ	本渡市・牛深市 大矢野町・松島町 有明町・姫戸町 竜ヶ岳町・倉岳町 栖本町・新和町 五和町・芥北町 天草町・河浦町	1.13	44	C	D	かんしょ 90	D	みかん 80		
		1.23	31	C	D	かんしょ 90	D	みかん 80		
		1.32	45				D	みかん 70		
		1.33	114							
Ⅲ	類地計	234								
Ⅳ	本渡市・牛深市 大矢野町・松島町 有明町・姫戸町 竜ヶ岳町・御所浦町 倉岳町・栖本町 新知町・五和町 芥北町・天草町 河浦町	1.14	6		D	かんしょ 70	A	みかん 70		
		1.24	2		A	かんしょ 70				
		1.34	7		A	かんしょ 70				
		1.41	8		D	かんしょ 70	B	みかん 70		
		1.42	116							
		1.43	292							
		1.44	16							
		2.42	2							
		2.43	7							
Ⅳ	類地計	456								
V	大矢野町・松島町 竜ヶ岳町・御所浦町 倉岳町・栖本町 天草町・河浦町	1.53	11							
		1.54	3							
V	類地計	14								
	未区分地	107								
	合 計	874								

用 の 現 況					備 考
林 林					
人 工 林		天 然 林		空地・その他	
土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種および 平均収穫量率	土地利用占有率	
					<p>かく二級河川26と他は小河川であり、有効利用が困難である。</p> <p>1. 地域内の主要河川と水利利用の概要 教良木川 流域面積 29 km² 河内川 " 76 龜 川 " 74 大宮地川 " 83 一町田川 " 59</p> <p>2. 開発計画</p> <p>① 羊角湾淡水湖化事業 淡水湖 206 ha しめきり堤長 430m 貯水量 4941,000m³ 受益面積 1,300 ha</p> <p>② 龜川ダム H=35m、L=96m V=2,650,000m³</p> <p>③ かんがい排水事業 志岐地区 ダム1、水路7,800m</p>
B	マツ・スギ ヒノキ 100	D	雑木林(広) 50		
B	マツ・スギ ヒノキ 100	D	"		
B	マツ・スギ ヒノキ 80	D	雑木林(広) 40		
B	マツ・スギ ヒノキ 80	D	"		
B	マツ・スギ ヒノキ 80	D	雑木林(広) 30		
B	マツ・スギ ヒノキ 80	D	"		
C	マ ツ 70	B	雑木林(広) 30		
C	マ ツ 70	B	"		

1973年3月 印刷発行

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

熊本県

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印刷 阿部写真印刷株式会社

東京都港区高輪一丁目二番十三号

